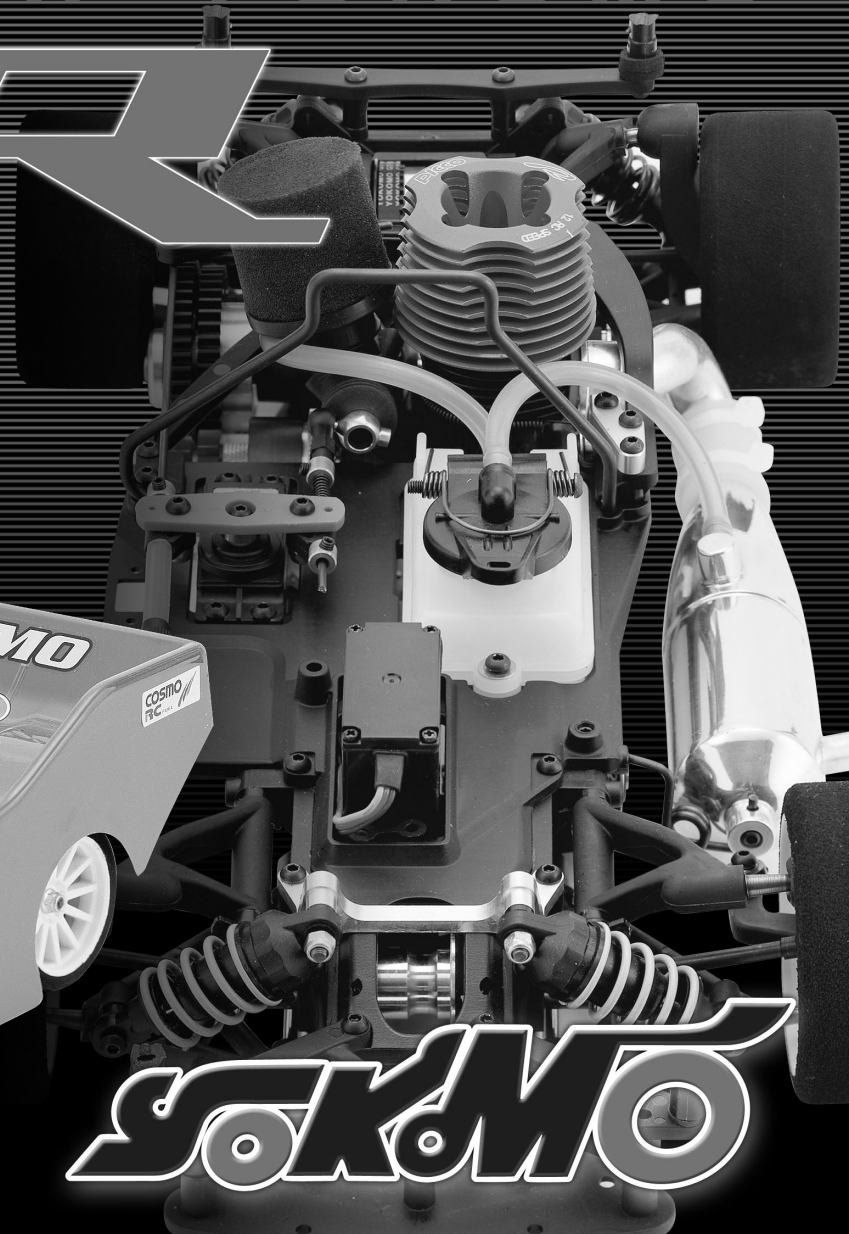
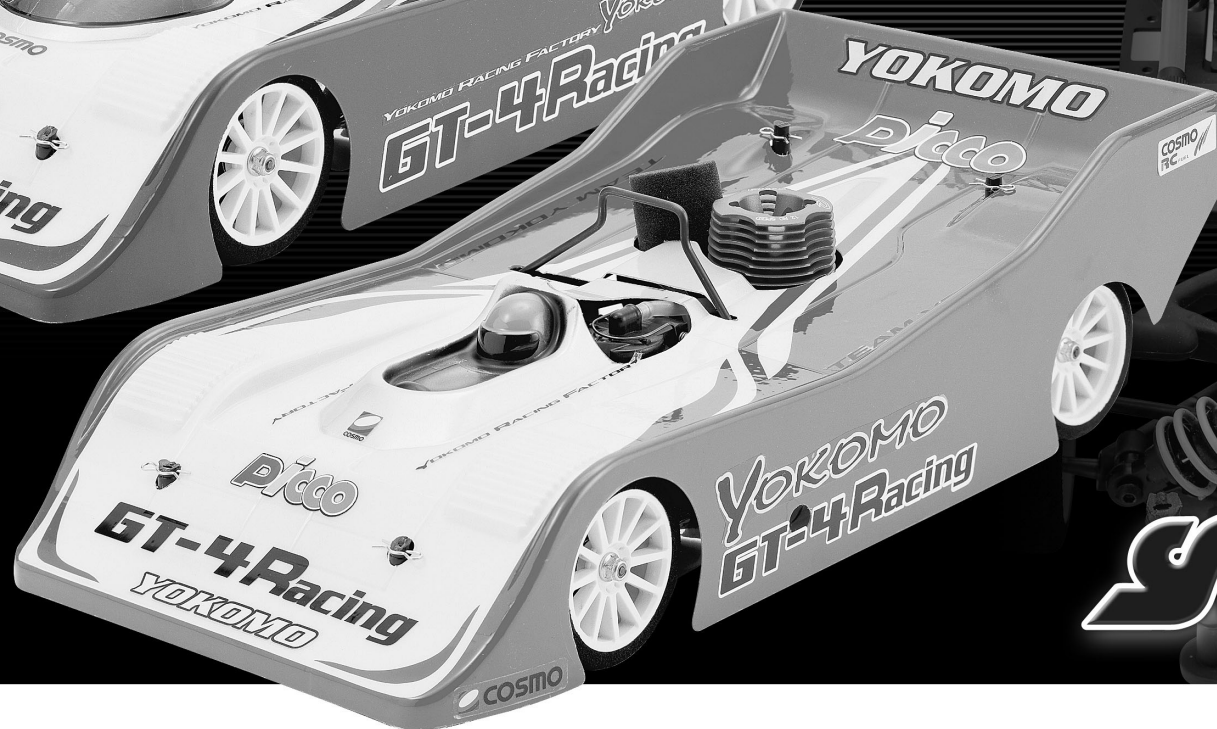
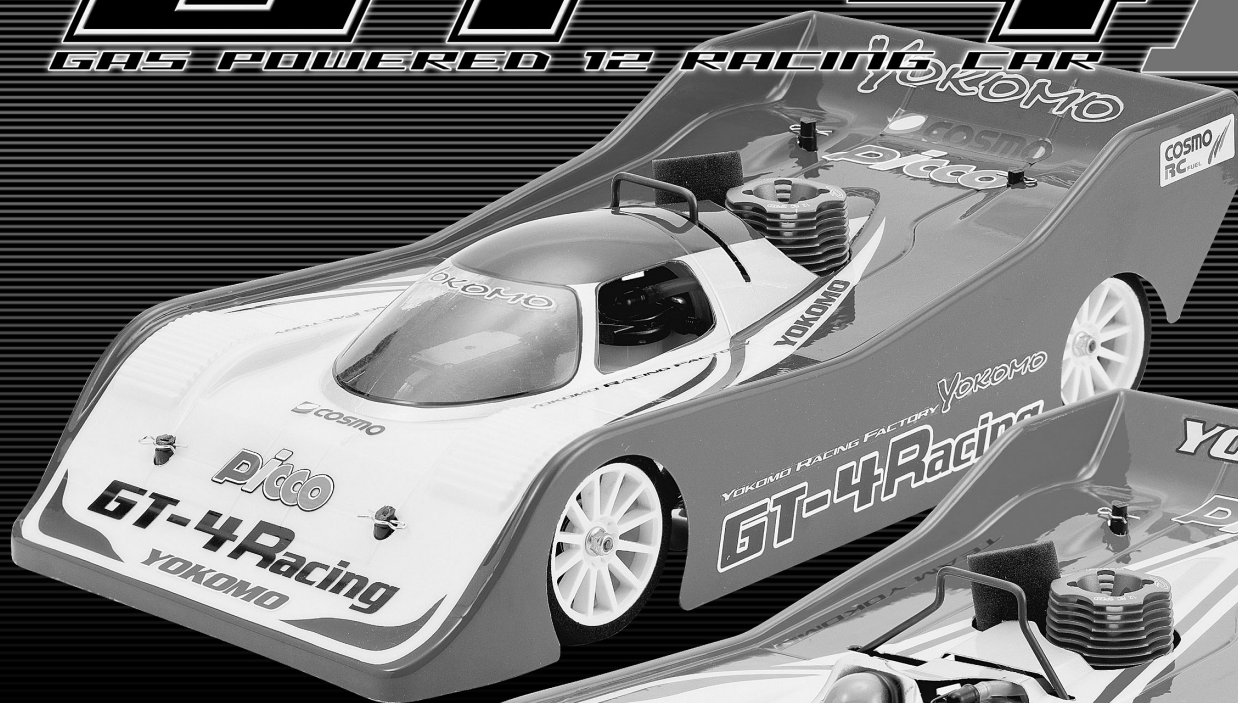


9-World Champion YOKOMO

GT-4R

GAS POWERED 1/2 RACING CAR



GT-4R

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことができます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で行って下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で行うと、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーはエンジン、マフラー、シャーシ各部が高温になりますので危険です。冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。
- 燃料には模型用グロウ燃料をご使用ください。燃料には有害な物質が含まれていますので蒸気、排気ガスは吸引しないでください。事故につながる恐れがありますので使用にあたっては屋外か換気設備が十分な場所で行ってください。
- 燃料の保管は直射日光の当たらない風通しの良い所で、幼児や子供の手の届かない冷暗所に保管してください。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [GT-4R] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (2サーボ 別電源仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 模型用グロー燃料
RC CAR FUEL
- エンジンスターター (プルスターター仕様は不要)
ENGINE STARTER
- プラグヒート及びヒート用バッテリー
GLOW PLUG IGNITER
- 走行用ボディー (ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

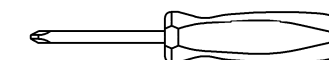
- | | |
|----------------------|---------------|
| ● ボディー (ボディー付キットの場合) | BODY |
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール、タイヤ | WHEELS, TIRES |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

GT-4Rの性能を十分に発揮させる為に、組立ては図を良く見て説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

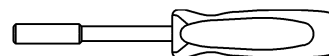
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your GT-4R will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

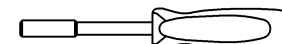
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



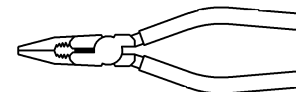
ドライバー (大, 小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



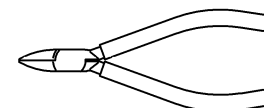
ボックスレンチ (7.0 mm)
NUT DRIVER (7.0 mm)



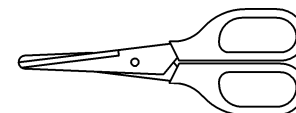
ボックスレンチ (5.5 mm)
NUT DRIVER (5.5 mm)



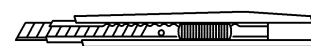
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



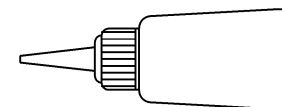
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



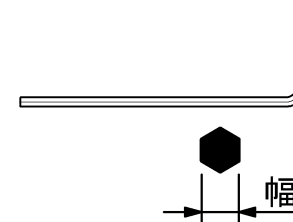
カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

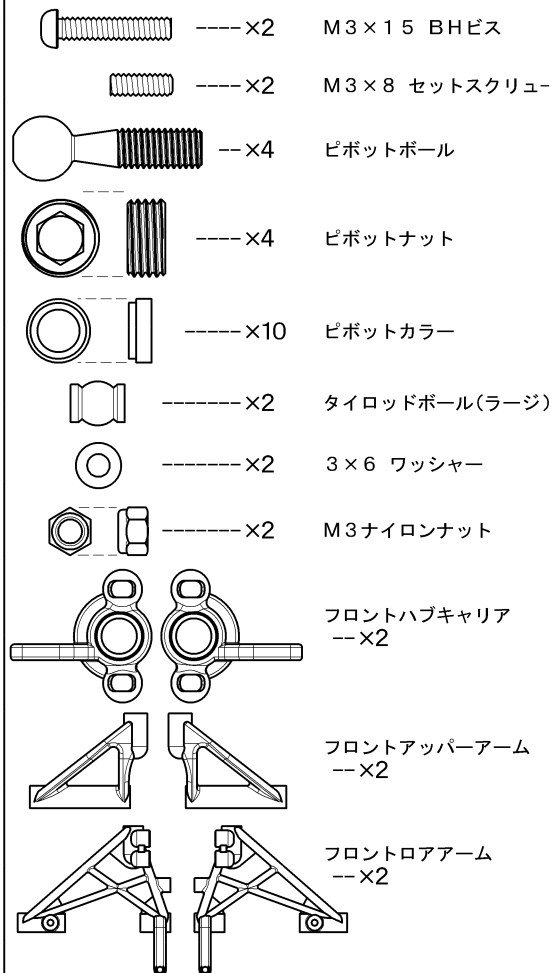
■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(6.0 mm)
(2.5 mm)
(2.0 mm)
(1.5 mm)

【袋①の内容】



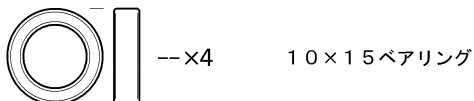
各種レンチは、工具袋に入っています。

- x1 1.5mm アレンキー
- x1 2.0mm アレンキー
- x1 2.5mm アレンキー

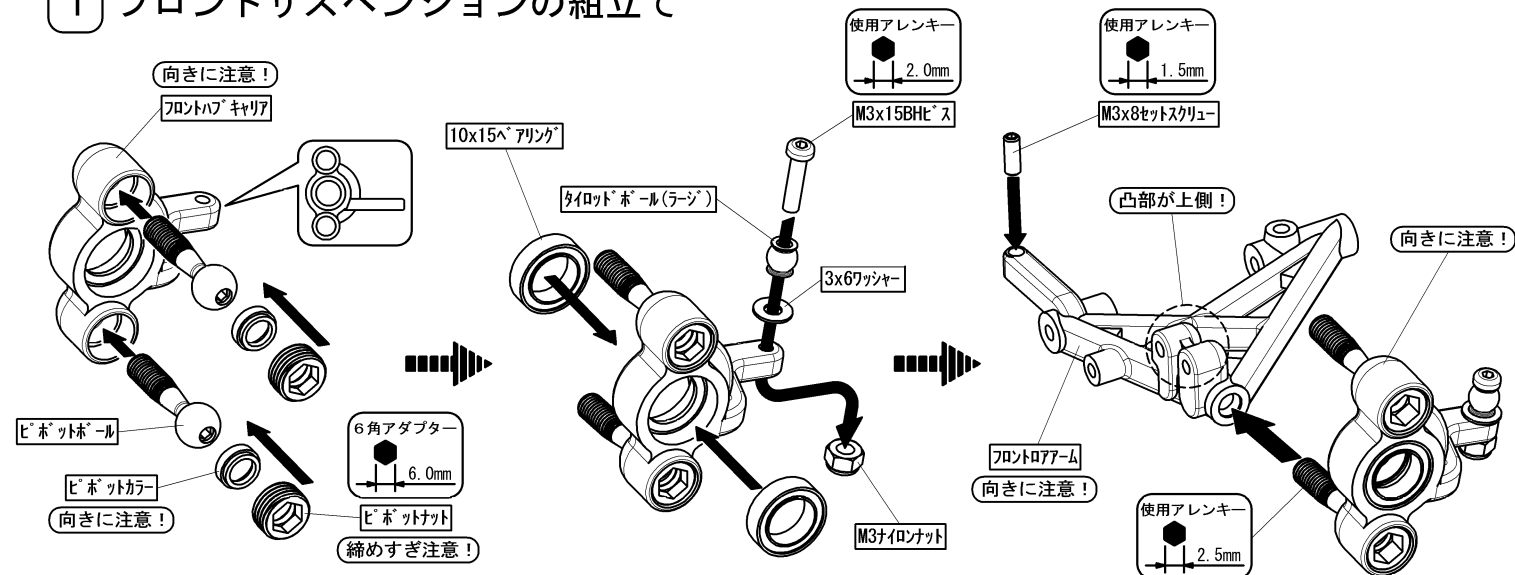
---x1 6.0mm アダプター
(十字レンチにはめ込み使用します。)

その他、ターンバックルレンチ、十字レンチが入っています。

ベアリングは、袋0 (小袋)に入っています。



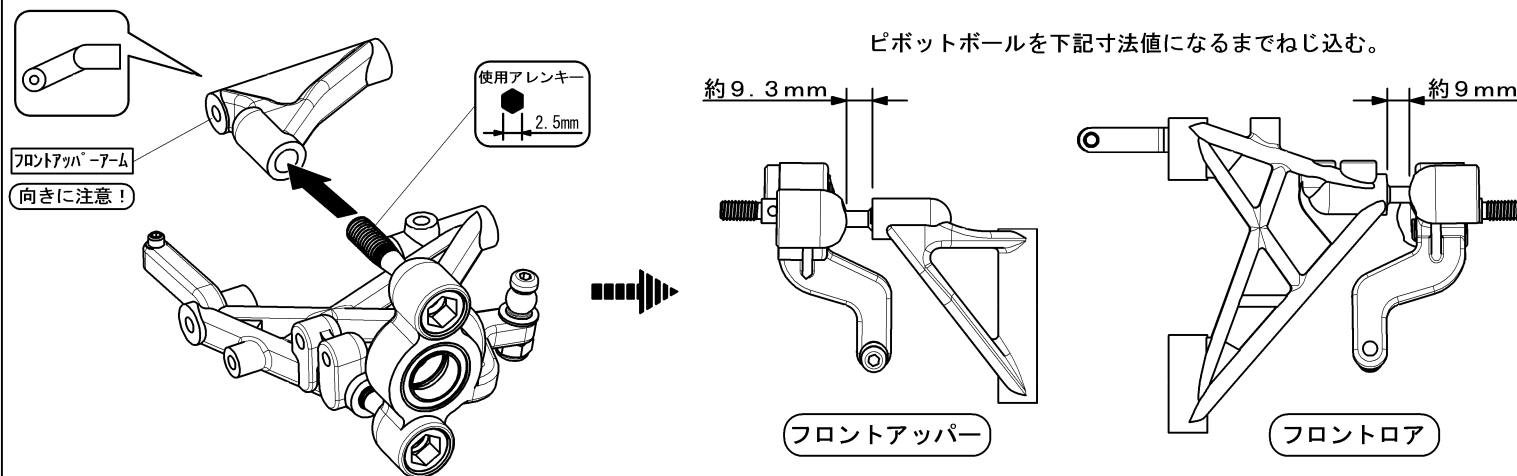
1 フロントサスペンションの組立て



ハブキャリアピボット部のバリをピンセットなどで丁寧に取り除く。ピボットボールに少量のブラックグリスを塗ってからピボットカラー、ピボットナットの順に垂直にゆっくりと締めこむ。
 注意！—ピボットナットの締めこみは、ピボットボールにガタが無く軽く動く様に締めこみます。ブラックグリスは【袋③】に入っています。

タイロッドボール(ラージ)を固定した後、フロントハブキャリアにベアリングを押しこみ、フロントアクスルを通す。

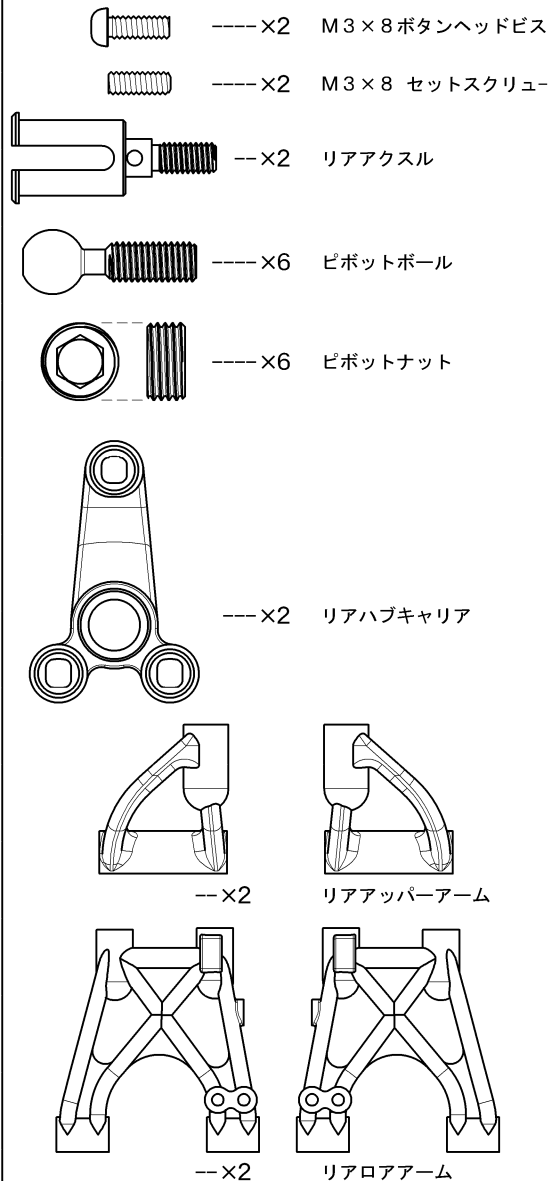
M3×8セットスクリューはネジ先が出ない程度にねじ込む。
 ピボットボールは仮止め程度にフロントロアアームにねじ込む。



ピボットボールは仮止め程度にフロントアッパーアームにねじ込む。

反対側のフロントサスペンションも対象になる様に組み立てる。

【 袋② の内容 】

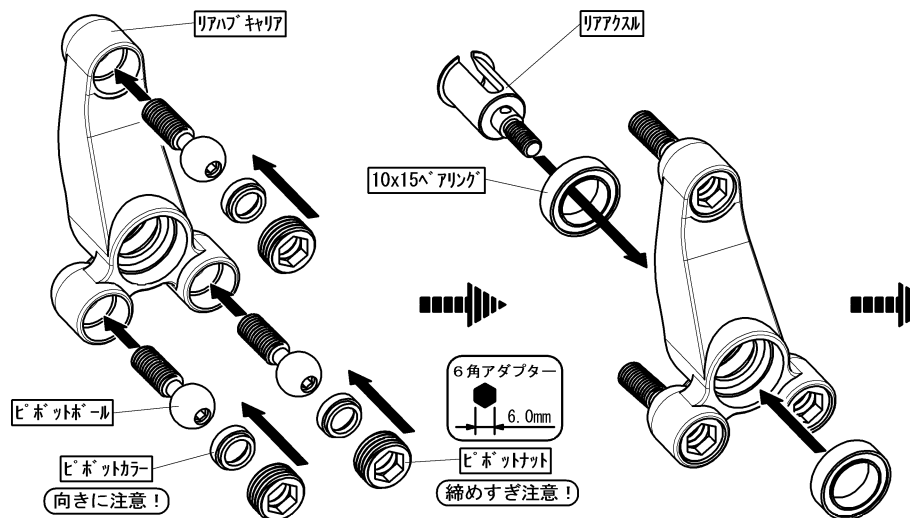


ベアリングは、袋0 (小袋)に入っています。



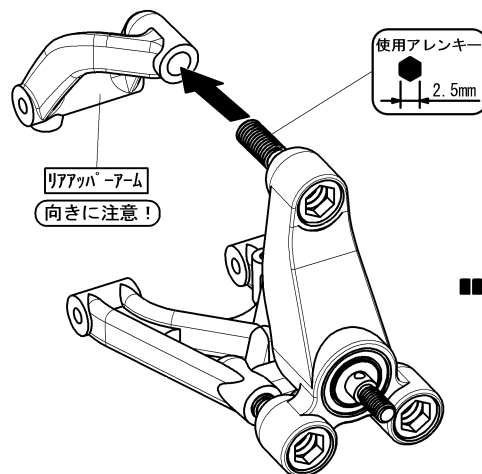
---×4 10×15ベアリング

2 リアサスペンションの組立て

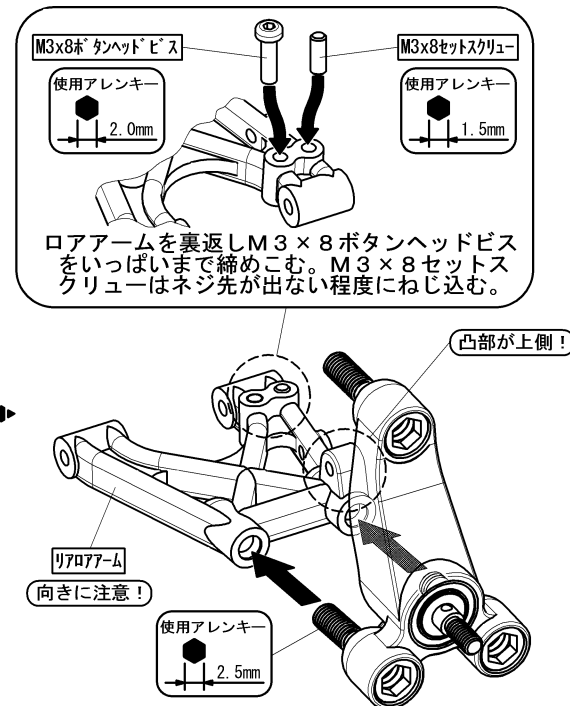


ハブキャリアピボット部のバリをピンセットなどで丁寧に取り除く。ピボットボールに少量のブラックグリスを塗ってからピボットカラー、ピボットナットの順に垂直にゆっくりと締めこむ。
 注意！ピボットナットの締めこみは、ピボットボールにガタが無く軽く動く様に締めこみます。

リアハブキャリアにベアリングを押しこみ、リアアクスルを通す。

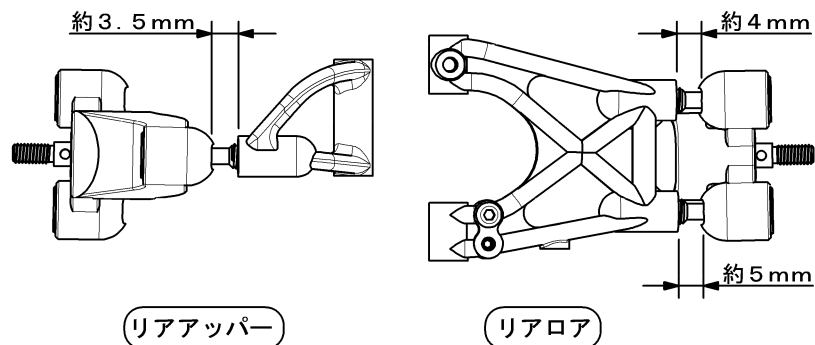


ピボットボールは仮止め程度にリアアッパーアームにねじ込む。



ピボットボールは仮止め程度にリアロアアームにねじ込む。

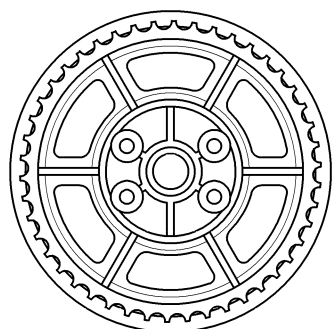
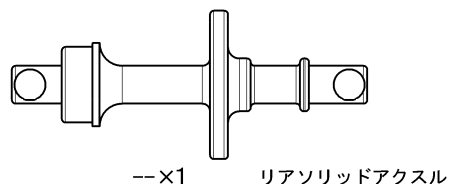
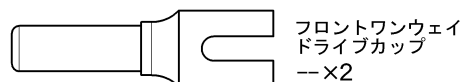
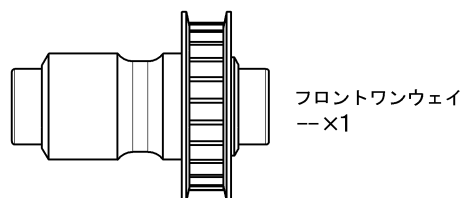
ピボットボールを下記寸法値になるまでねじ込む。



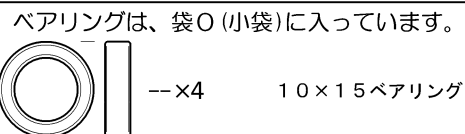
反対側のリアサスペンションも対象になる様に組み立てる。

【袋③の内容】

-  --×4 M2.6×8 ナベビス
 --×2 M4×4 セットスクリュー

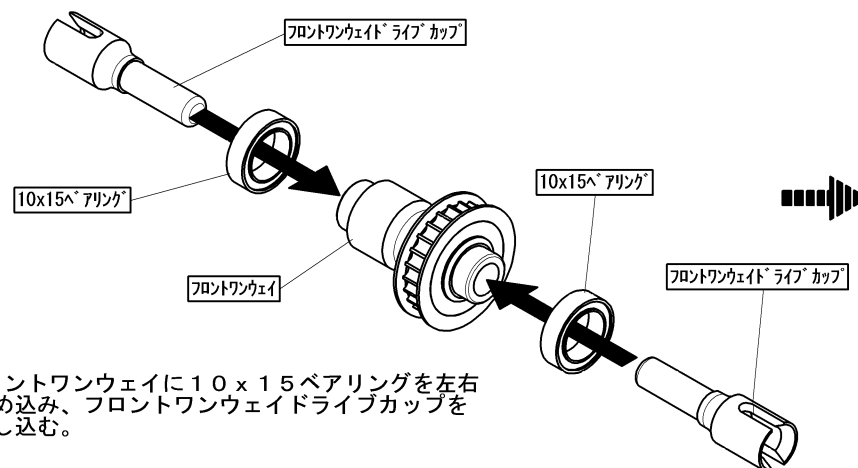


その他、ブラックグリス (黄色のフタ)が入っています。



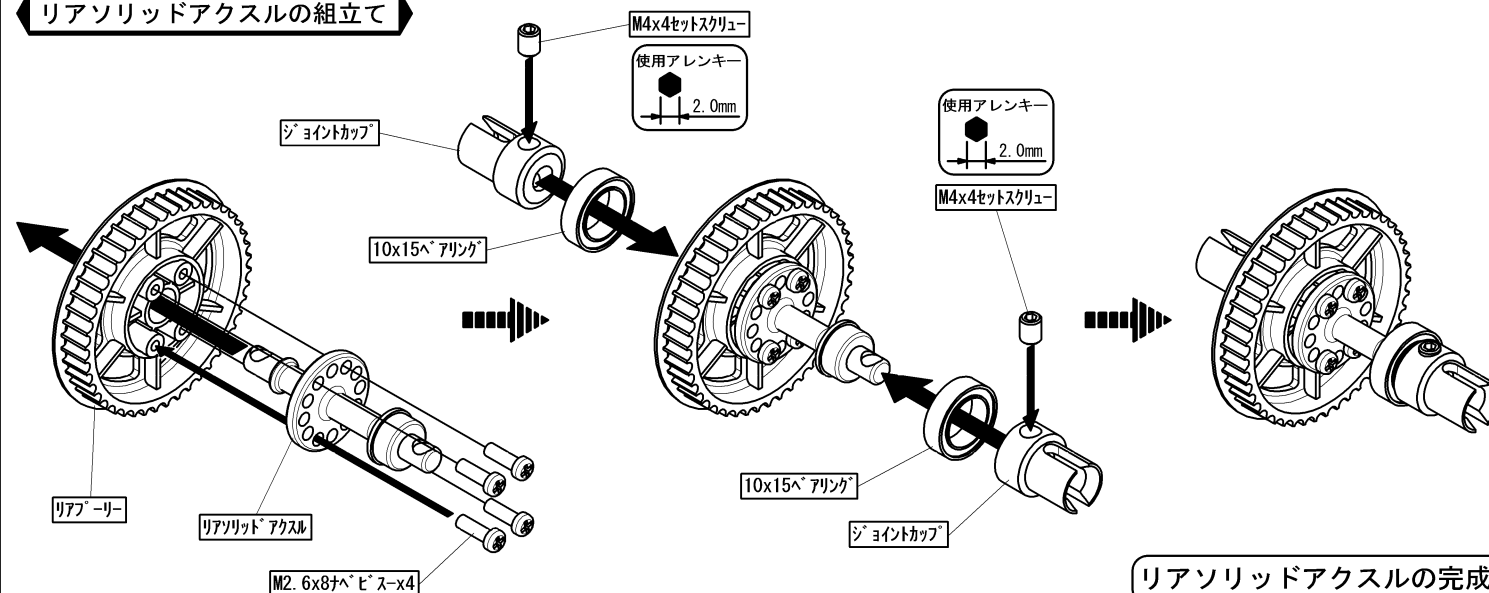
3 前後プーリーの組立て

フロントワンウェイの組立て



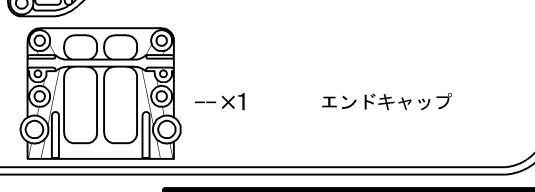
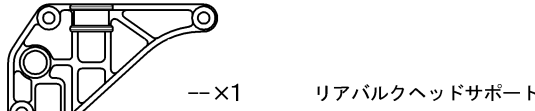
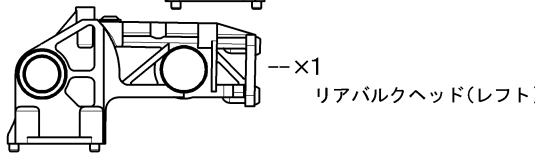
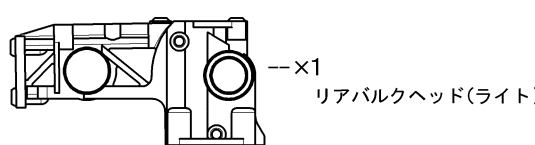
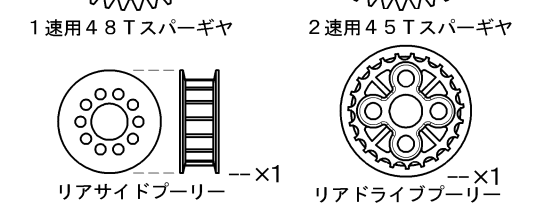
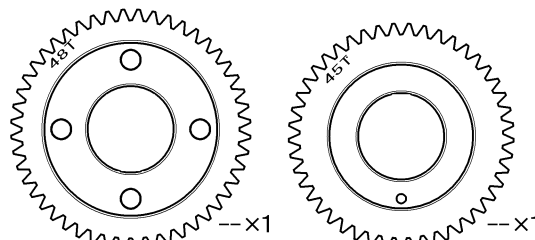
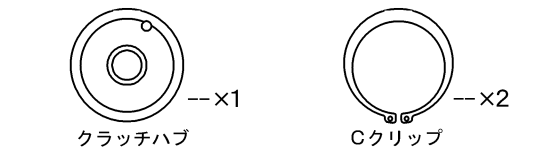
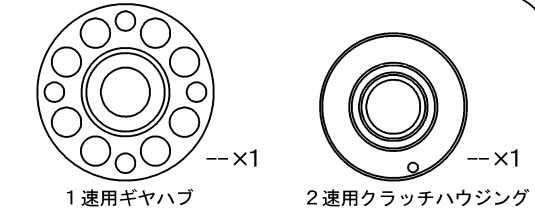
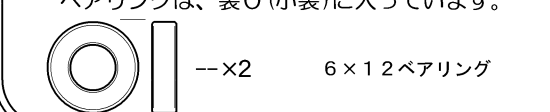
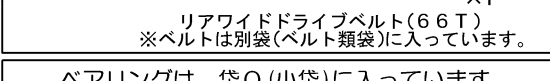
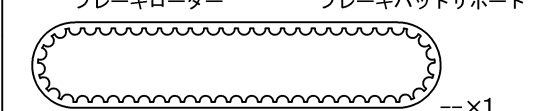
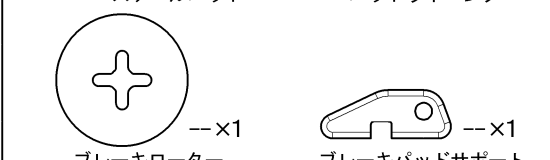
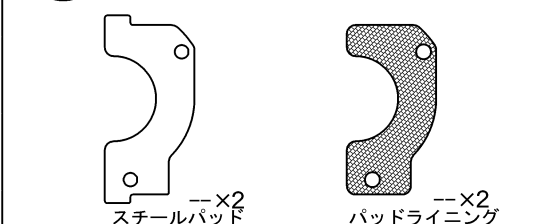
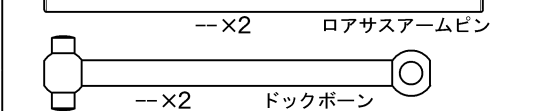
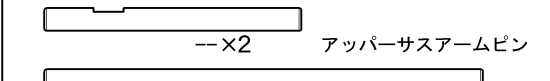
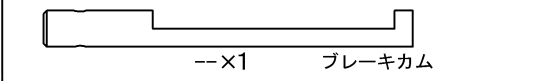
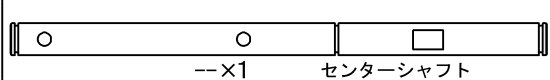
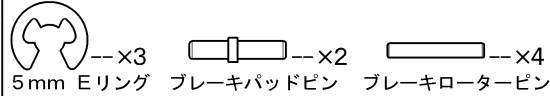
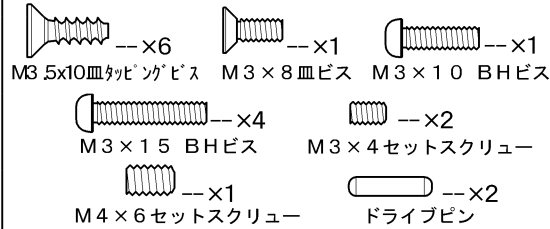
フロントワンウェイの完成！

リアソリッドアクスルの組立て

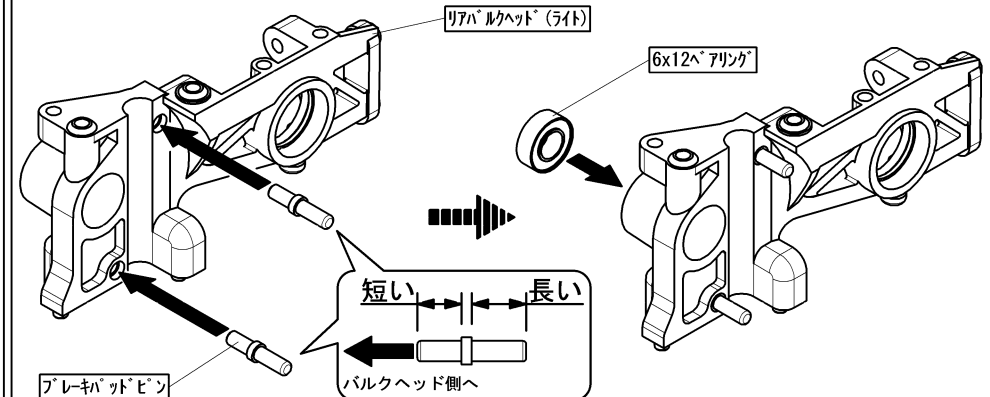


リアソリッドアクスルの完成！

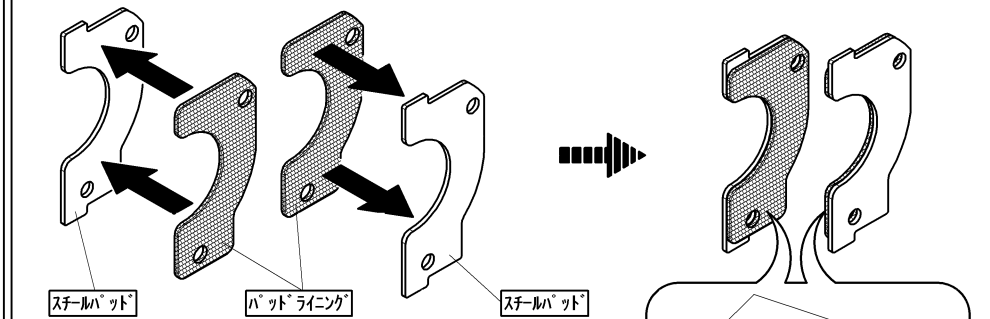
【袋④の内容】



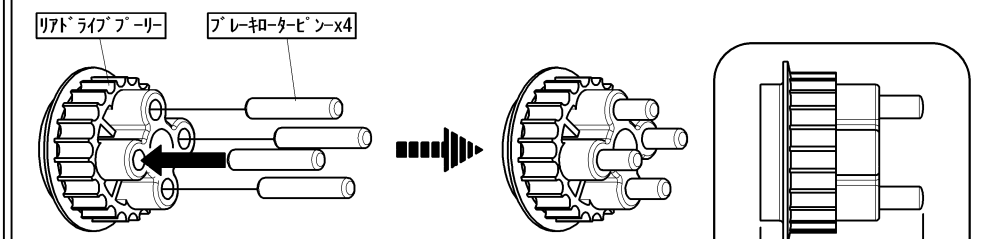
4 リアバルクヘッドの組立て



リアバルクヘッド(ライト)の穴2箇所にはブレーキピンを奥まで押しこみ、ベアリングをはめ込む。

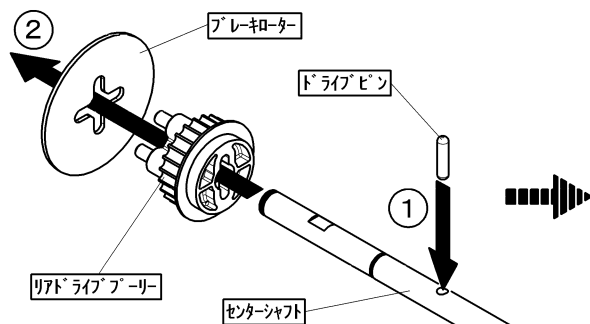


パッドライニングをゴム系接着剤でスチールパッドに張りつける。完全に乾いてからパッドライニング面を平面が出るまで紙ヤスリで削る。
 注意！①接着を行う前にスチールパッドの油分をクリーナーなどで必ず脱脂して下さい。
 パッドライニングがはみ出てしまった場合はカッターなどで切り取して下さい。

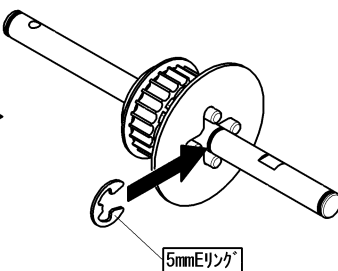


リアドライブプーリーにブレーキローターピン4本を奥までしっかりと押しこむ。
 注意！②プライヤーなどで押しこむ時はプーリーに傷が着かないように注意して下さい。

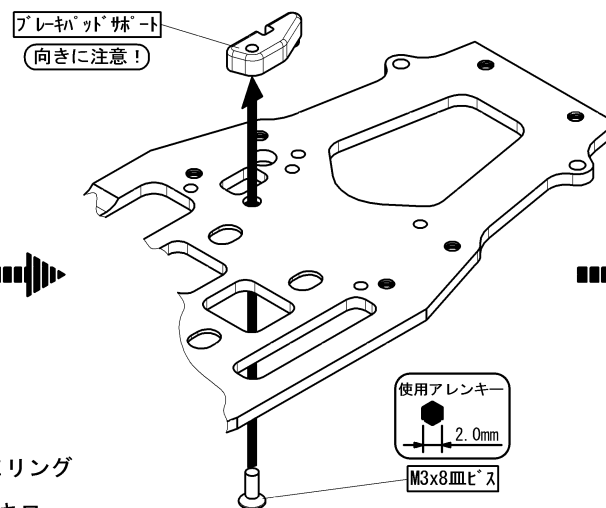
4 リアバルクヘッドの組立て



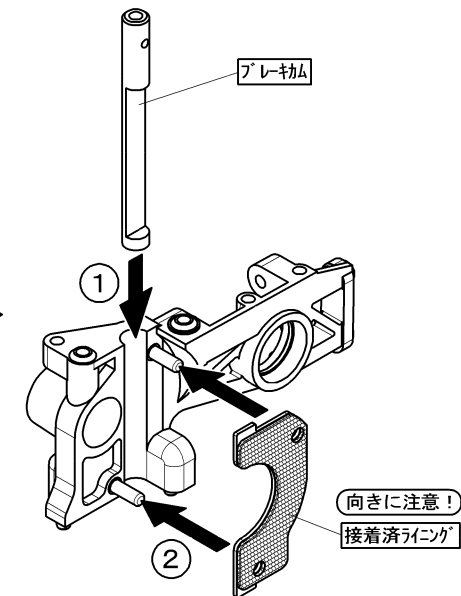
センターシャフトにドライブピンを差しこみ、リアドライブプーリー、ブレーキローターの順でシャフトに通す。



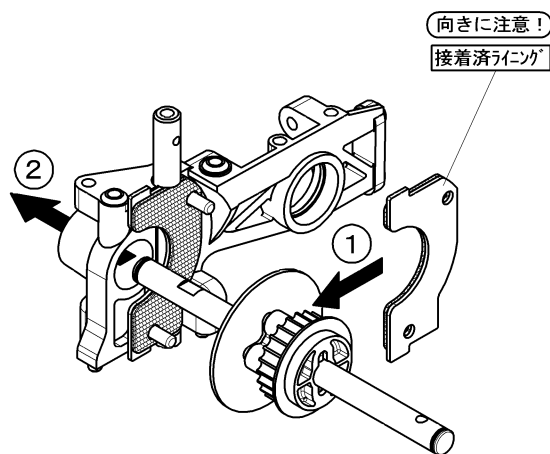
センターシャフトのミゾに5mmEリングをはめ込む。
注意！①5mmEリングはブレーキローターに傷を付けない様に確実にはめ込んで下さい。



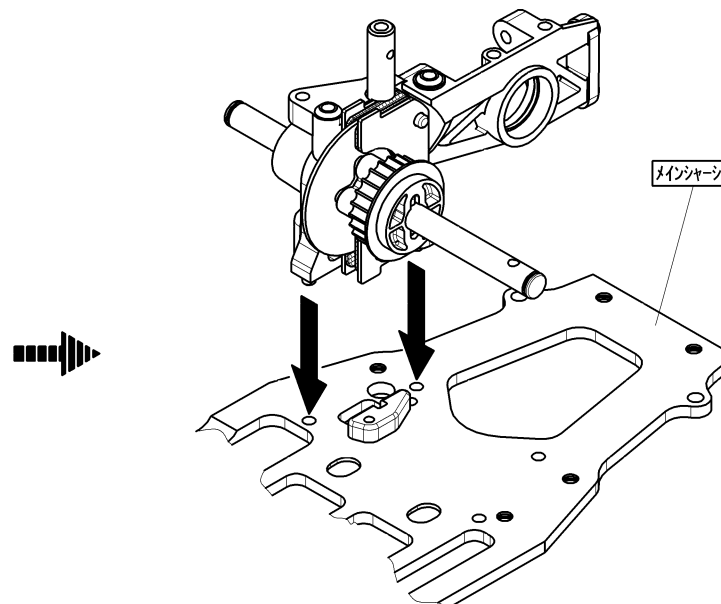
ブレーキパッドサポートをシャーシにはめ込み、裏側からM3×8皿ビスで固定する。



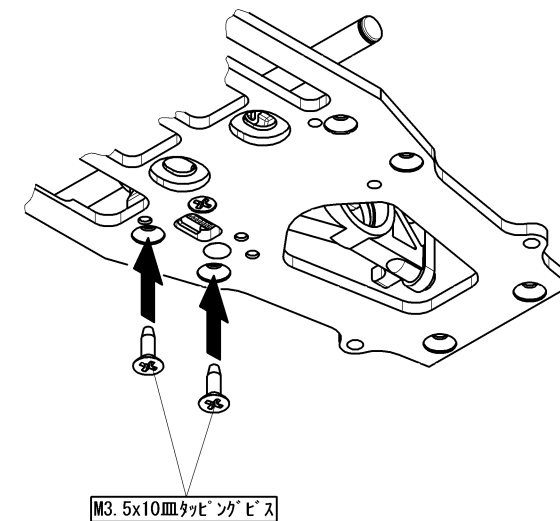
リアバルクヘッド(ライト)の長ミゾにイラストの向きでブレーキカムを通し、接着済ラインを2本のブレーキパッドピンにそわせる様に通しブレーキカムにはめる。



もう片方の接着済ラインをブレーキローターと一緒に押さえこむ様にバルクヘッドに通し、ブレーキパッドピンにそわせる。

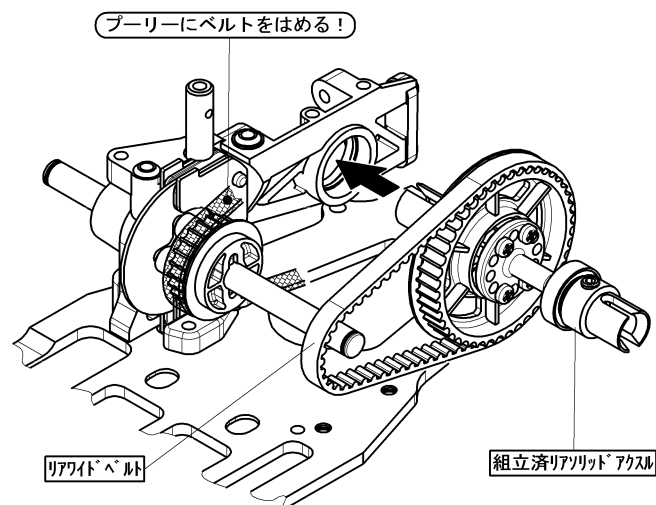


バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を合わせ、右イラストの様にシャーシ下側からM3.5×10皿タッピングビス2本で固定する。

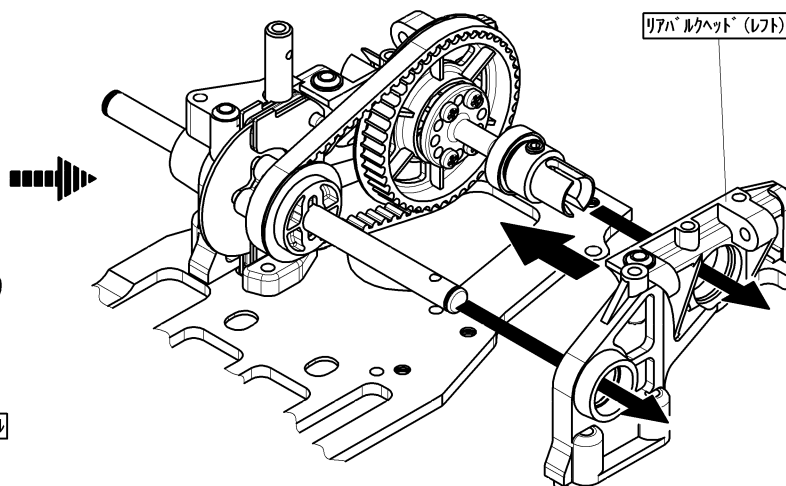


注意！②組付けたブレーキが外れない様にタッピングビスをしめ込んで下さい。

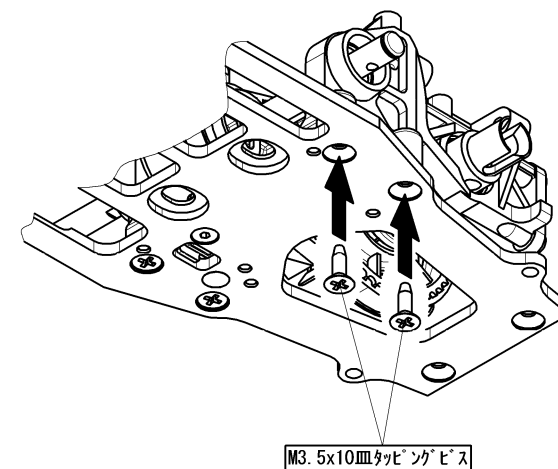
4 リアバルクヘッドの組立て



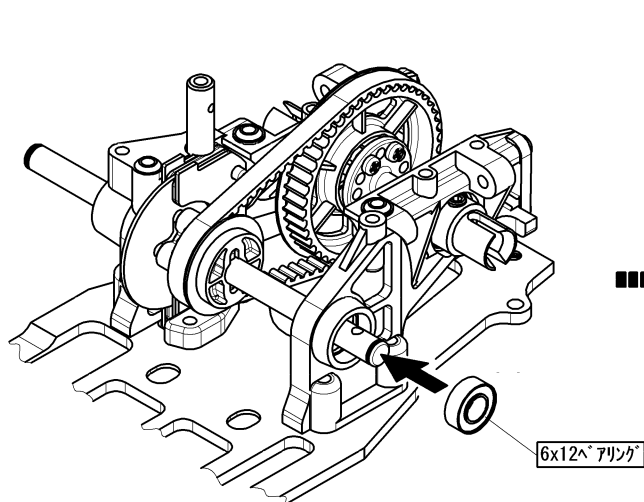
組立済リアソリッドアクスルにリアワイドベルトを合わせ
リアドライブプーリーにベルトをはめ込みソリッドアクスル
をバルクヘッドに押しこむ。



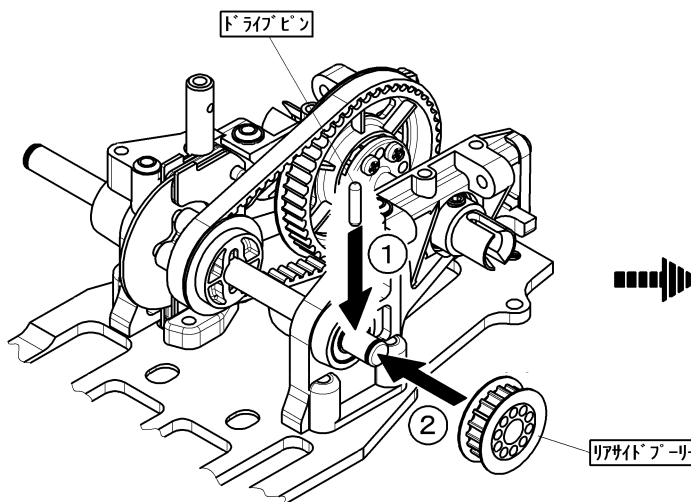
バルクヘッド(レフト)にセンターシャフト、ジョ
イントカップを通す。



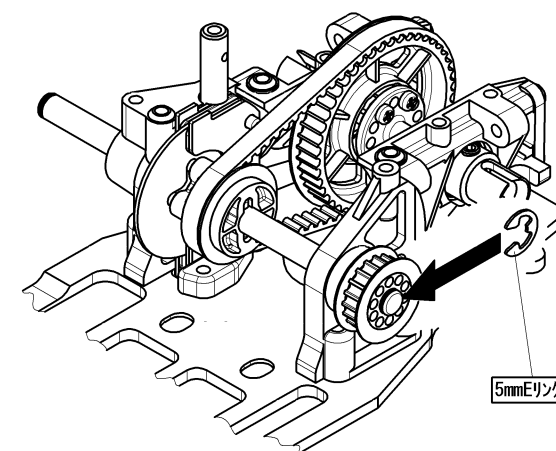
バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を
合わせ、シャーシ下側からM3.5×10皿タッ
ピングビス2本で固定する。



バルクヘッドに6×12ベアリングをはめ込む。

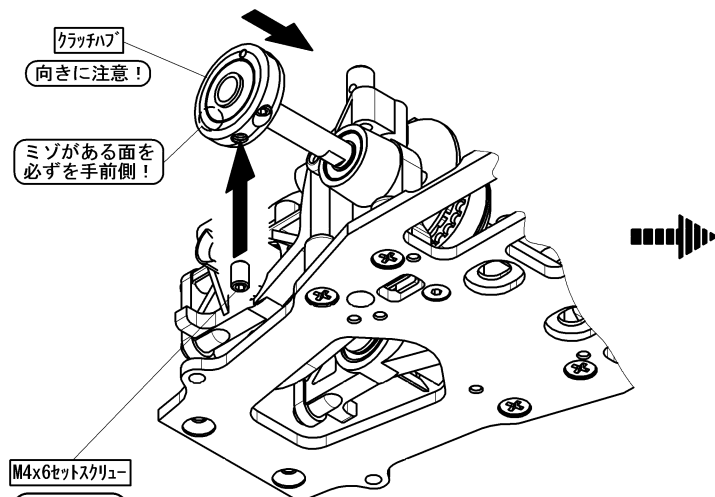


センターシャフトにドライブピンを差しこみ、リアサイド
プーリーのミゾをピンに合わせ押しこむ。

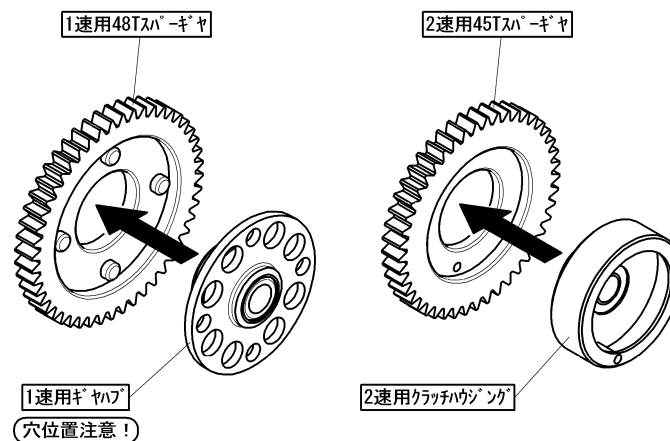


センターシャフトのミゾに5mmEリング
をはめ込む。
注意! —5mmEリングは確実にはめ込
んで下さい。

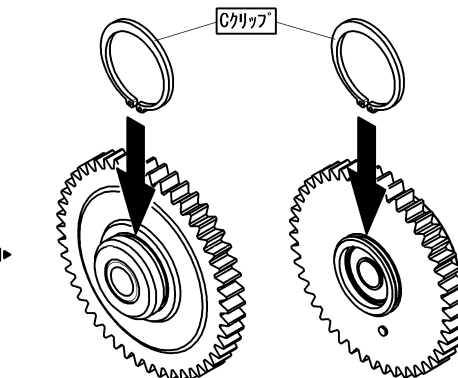
4 リアバルクヘッドの組立て（2スピードミッションの取付）



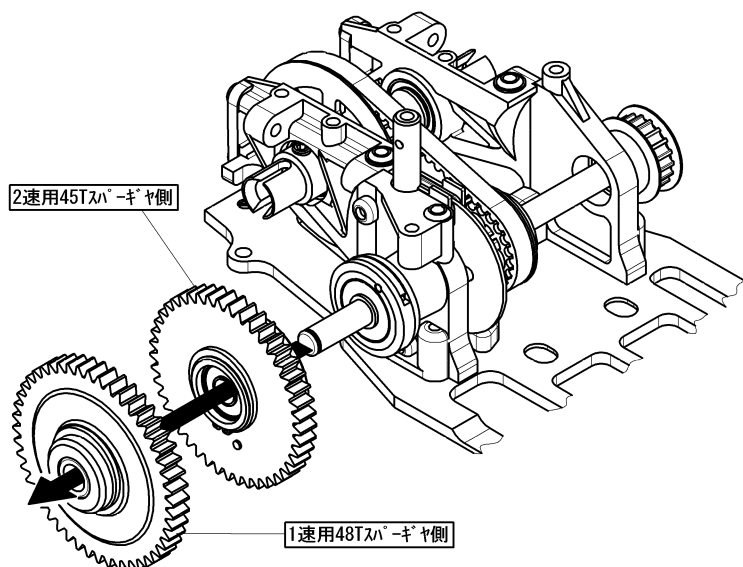
センターシャフトのDカット面にM4×6セットスクリューが当たる様にしめ込みクラッチハブを固定する。
 注意！①クラッチハブの向きは、必ずミゾがある面を手前に向けて固定して下さい。逆に取付けると2速側に変速する事が出来なくなります。



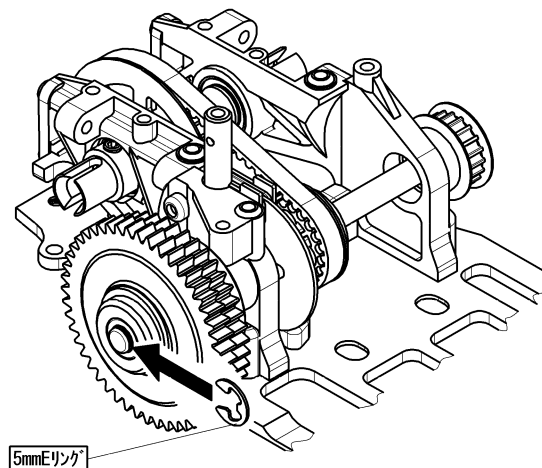
スパークギヤにギヤハブ及びクラッチハウジングをはめ込む。



ギヤハブ及びクラッチハウジングのミゾにCクリップをはめ込む。
 注意！②Cクリップは確実にはめ込んで下さい。なお、スナップリングプライヤーを使用すると作業が楽に行えます。



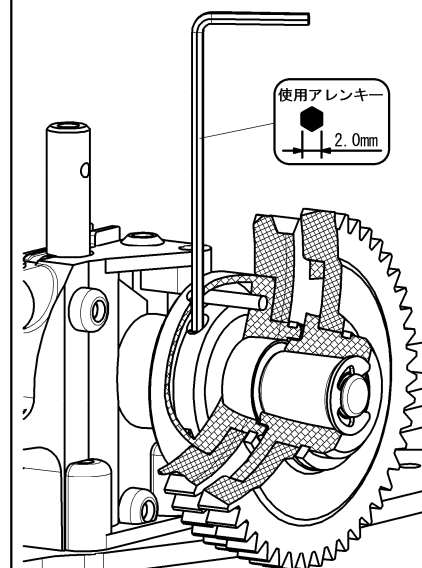
センターシャフトに2速スパークギヤ、1速スパークギヤの順に差し込む。



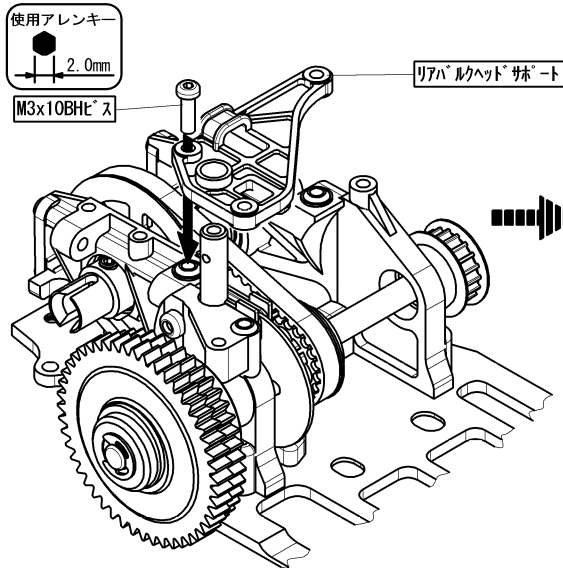
センターシャフトのミゾに5mmEリングをはめ込む。
 注意！③5mmEリングは確実にはめ込んで下さい。

変速タイミング調整

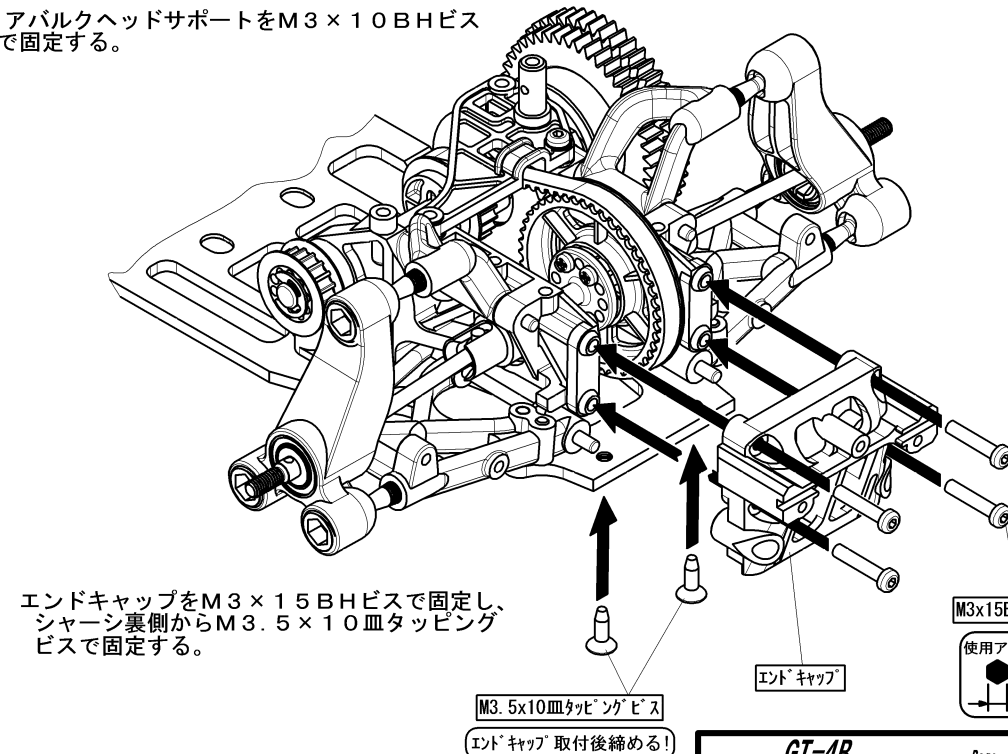
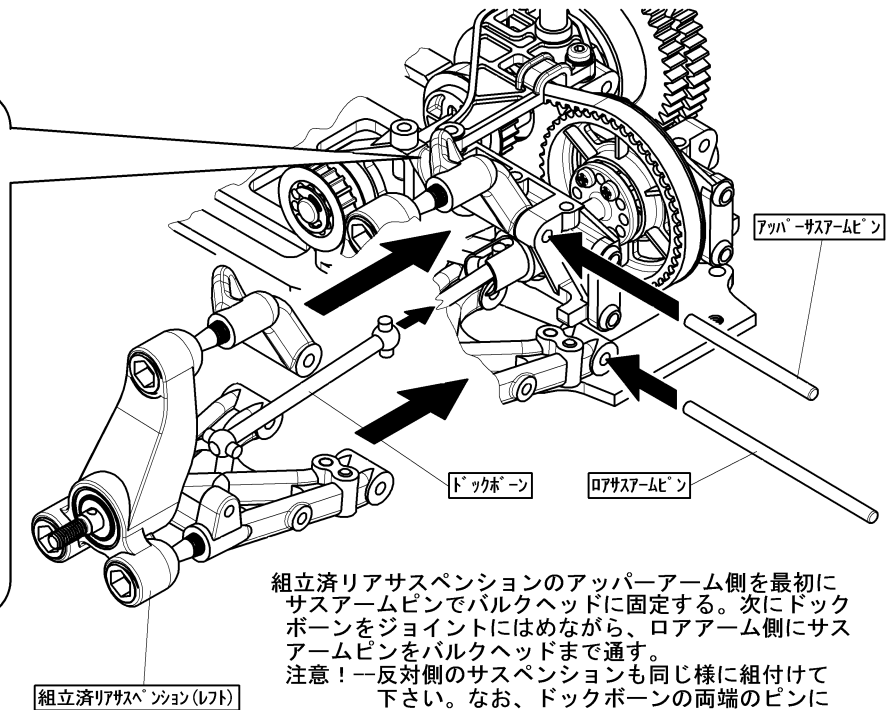
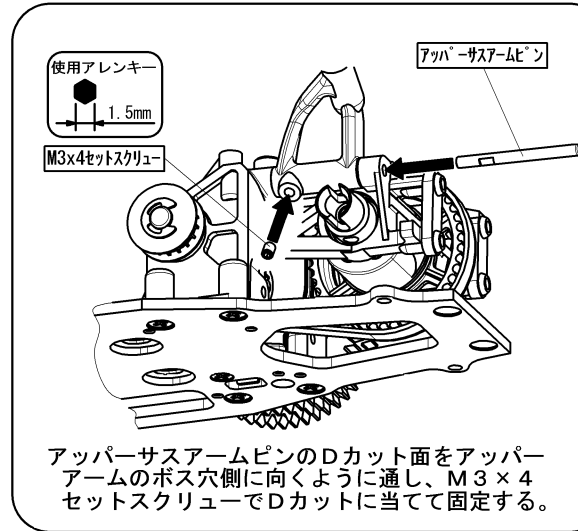
変速タイミングの調整は、しめ込むと2速への変速が遅くなり、ゆるめると早くなります。走行させながら調整を行って下さい。



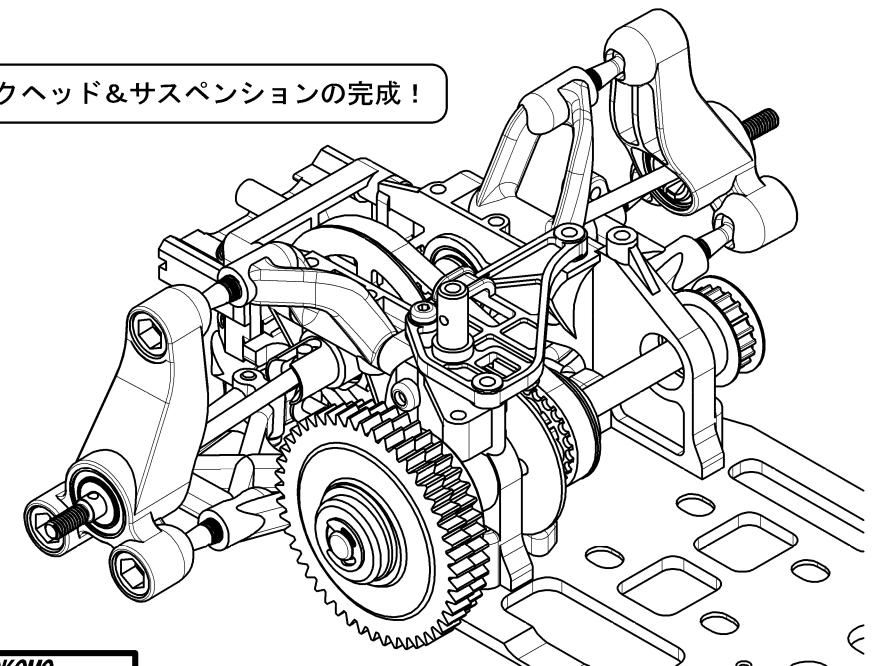
4 リアバルクヘッドの組立て（リアサスペンションの取付）



リアバルクヘッドサポートをM3×10BHビスで固定する。



リアバルクヘッド&サスペンションの完成！



【袋⑤の内容】

M3 5x10皿タップ・ビス --x9
M3 x 10皿ビス --x2
M3x2.5セットスクリュー --x4

M3x4セットスクリュー --x4
M3x8セットスクリュー --x2
ドライブピン --x2

5mm Eリング --x2
キャスト・シム (1.3mm & 2.6mm) --x6

ミドルシャフト --x1

アッパーサスアームピン --x2

ロアサスアームピン --x2

フロントドックボーン --x2

フロントアクスル --x2

カップリング --x2

クロスピン --x2

フロントサイドプーリー --x1

フロントドライブプーリー --x1
プーリーフランジ --x1

フロントドライブベルト(64T) --x1

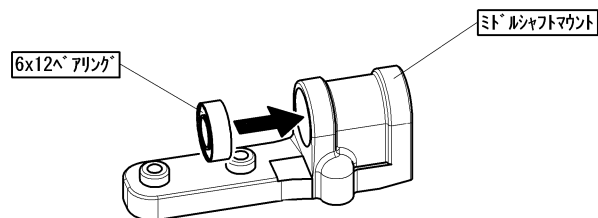
サイドドライブベルト(117T) --x1

※ベルトは別袋(ベルト類袋)に入っています。

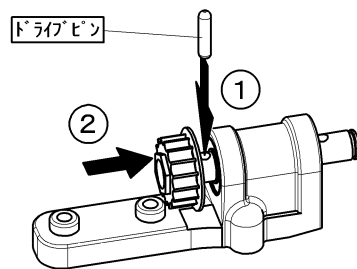
ベアリングは、袋0(小袋)に入っています。

6 x 12ベアリング --x2

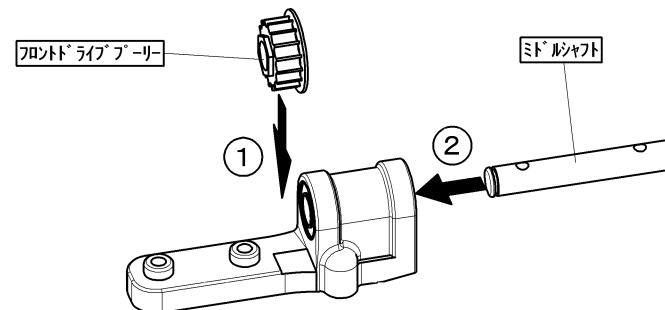
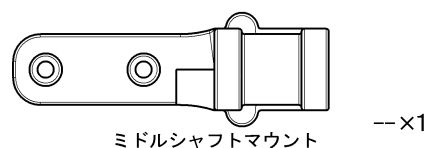
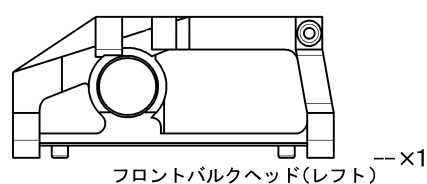
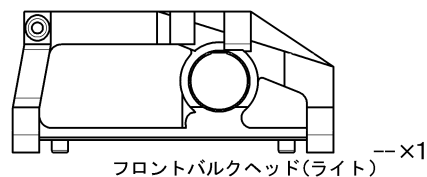
5 フロントバルクヘッドの組立て



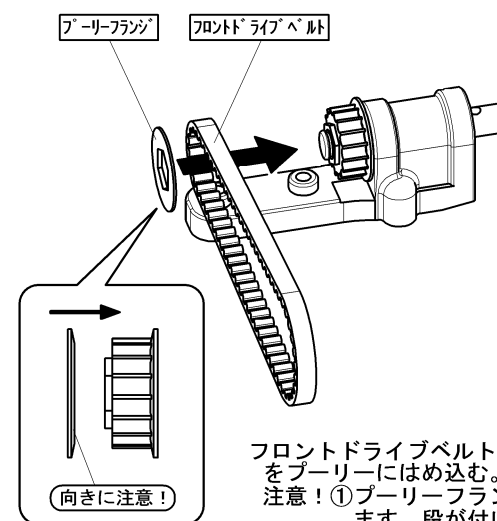
ミドルシャフトマウントに6 x 12ベアリングをはめ込む。



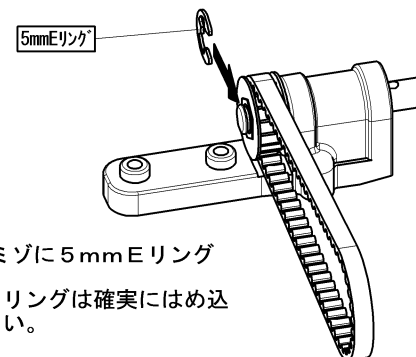
マウントとプーリーの間にすき間を作り、シャフトの穴にドライブピンを差し込みプーリーをミゾに合せ押しこむ。



ミドルシャフトをマウントに通しフロントドライブプーリーに差しこむ。

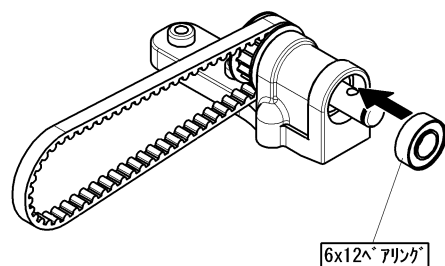


フロントドライブベルト、プーリーフランジをプーリーにはめ込む。
注意! ①プーリーフランジには向きがあります。段が付いている面をプーリー側に向けて下さい。

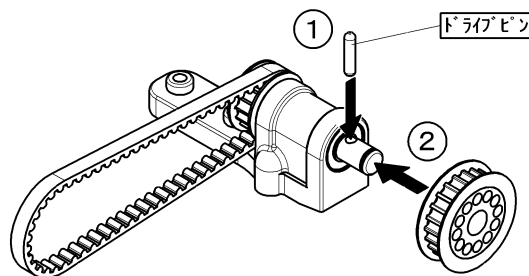


ミドルシャフトのミゾに5mm Eリングをはめ込む。
注意! ②5mm Eリングは確実にはめ込んで下さい。

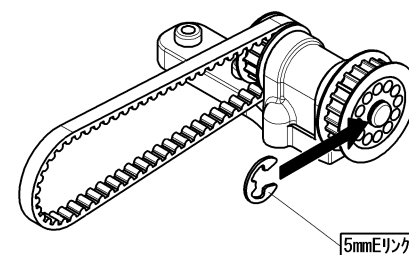
5 フロントバルクヘッドの組立て



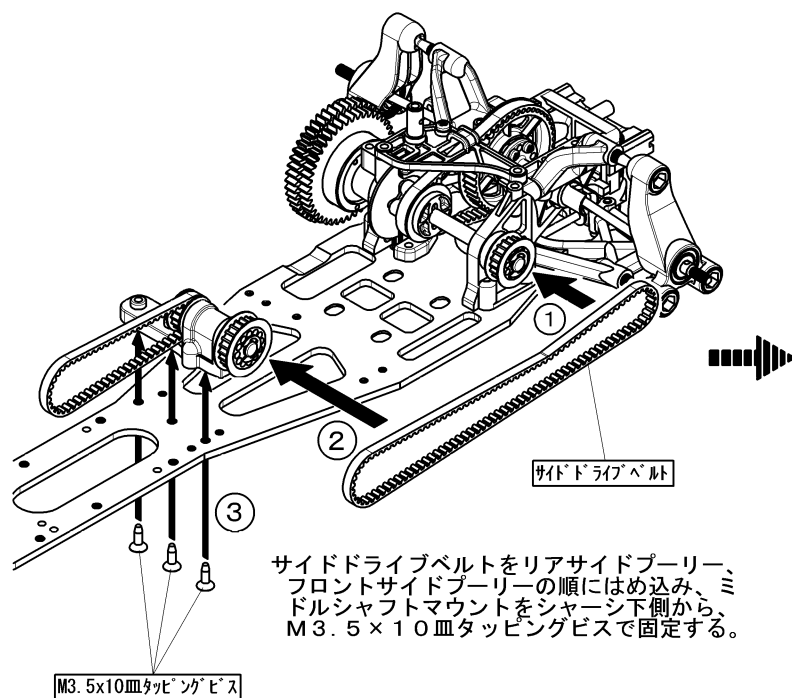
ミドルシャフトマウントに6×12ベアリングを押しこむ。



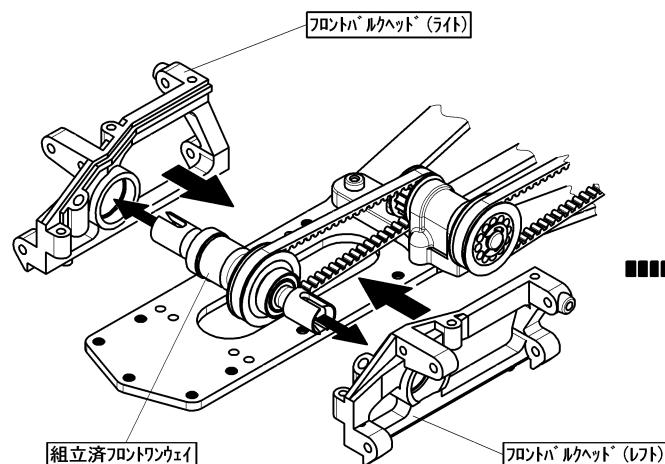
ミドルシャフトの穴にドライブピンを差しこみ
フロントサイドプーリーのミゾに押しこむ。



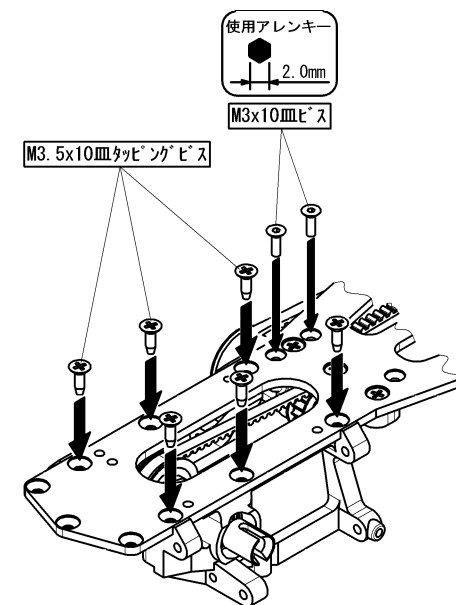
ミドルシャフトのミゾに5mmEリングをはめ込む。
注意！—5mmEリングは確実にはめ込んで下さい。



サイドドライブベルトをリアサイドプーリー、
フロントサイドプーリーの順にはめ込み、ミ
ドルシャフトマウントをシャーシ下側から、
M3.5×10皿タッピングビスで固定する。



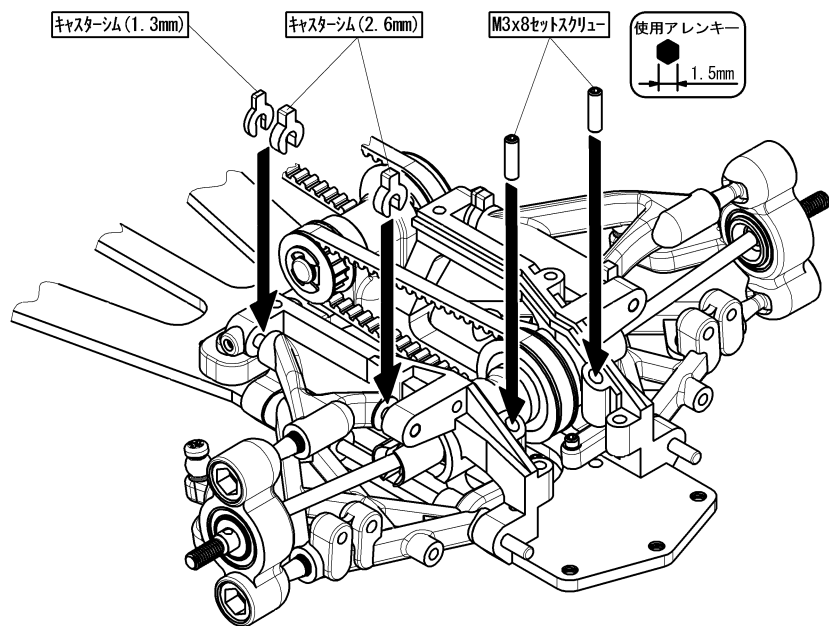
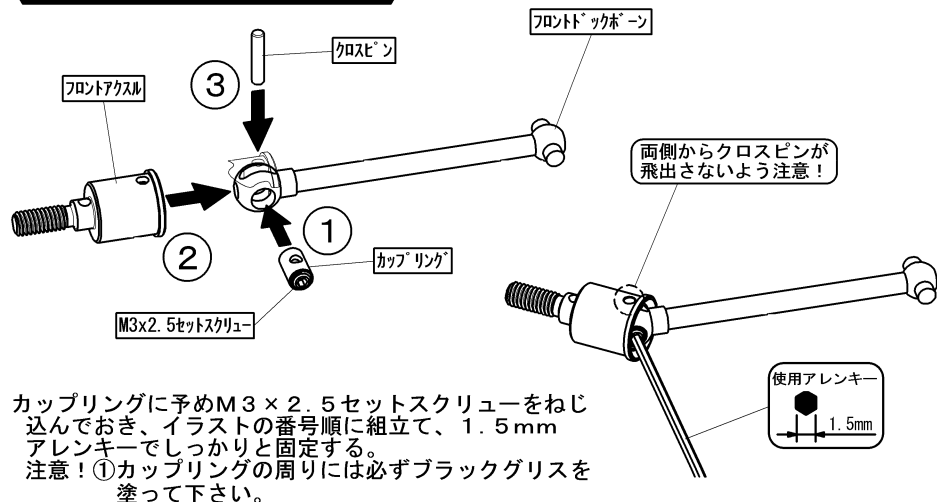
フロントドライブベルトに組立済フロントワンウェイ
を合わせ、フロントバルクヘッド(ライト&レフト)
を両サイドからはめ込む。



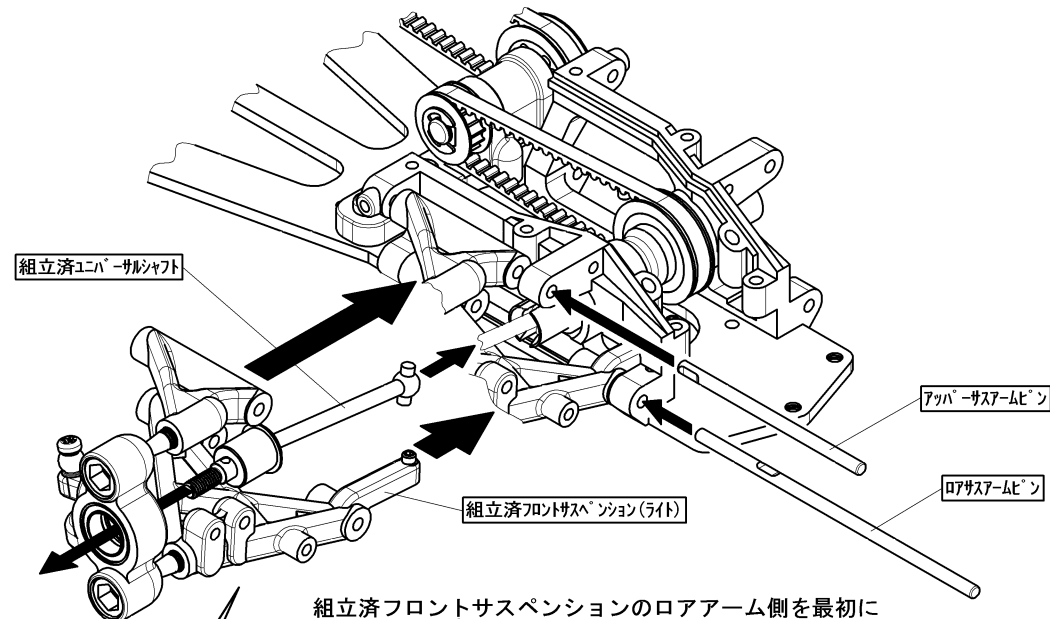
バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を
合わせ、シャーシ下側からM3.5×10皿タッ
ピングビス6本で固定し、ミドルシャフトマウ
ントの2箇所をM3×10皿ビスで固定する。

5 フロントバルクヘッドの組立て（フロントサスペンションの取付）

ユニバーサルシャフトの組立て

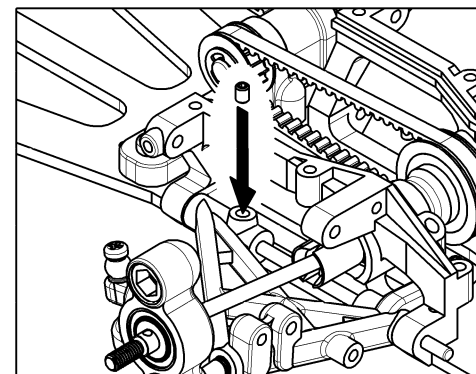


キャスターシムを前側に2.6mm、後側に1.3mm & 2.6mmをアッパーアームのすき間に差し込み、バルクヘッドにM3×8セットスクリューをねじ先が出ない程度にねじ込む。

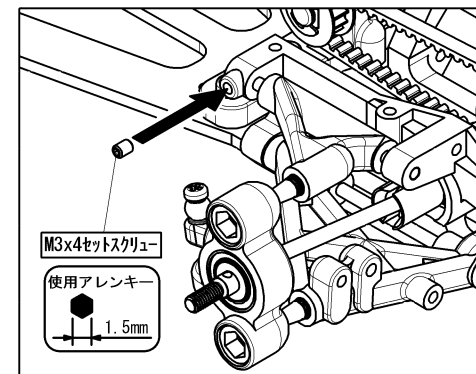


組立済フロントサスペンションのロアアーム側を最初にサスアームピンでバルクヘッドに固定する。次にユニバーサルシャフトをジョイントにはめながら、アッパーアーム側にサスアームピンを通す。
注意! ②反対側のサスペンションも同じ様に組付けて下さい。なお、ユニバーサルシャフトのピンには必ずブラックグリスを塗って下さい。

ロアアーム側



アッパーアーム側



アッパーサスアームピン及びロアサスアームピンのDカット面をボス穴側に向くように通し、M3×4セットスクリューでDカットに当てて固定する。

【袋⑥の内容】

---x1
M3×8BHビス

---x4
M3×10キャップビス

---x2
エンジンマウント

---x5
スプリングワッシャー

---x1
クラッチベル

---x1
フライホイール

---x3
クラッチスプリング

---x3
クラッチシュー

---x1
クラッチナット

---x1
コレットワッシャー

---x1
ピコ専用コレット(内径6mm)

---x1
コレット(内径7mm)

---x1
クラッチワッシャー(片側段付)

---x1
クラッチワッシャー(両側段付)

---x1
1速用16Tピニオン

---x1
2速用19Tピニオン

---x1
ピニオンスペーサー

ベアリングは、袋0(小袋)に入っています。

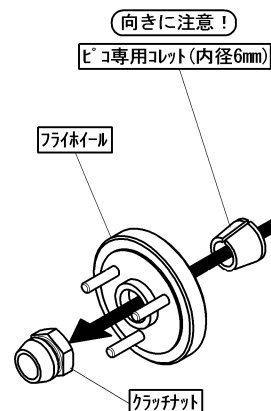
---x2

5×10ベアリング

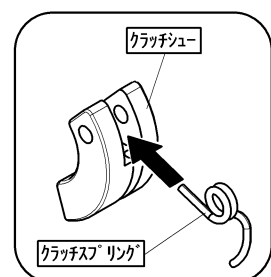
6 クラッチの組立て

ピコ製エンジン

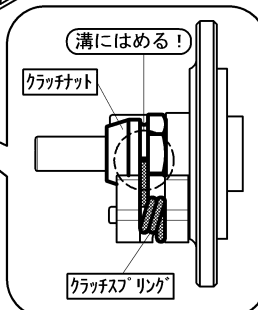
別途ご用意下さい。



ピコ製エンジンの場合はクランクシャフトに専用コレット(内径6mm)、フライホイールの順にさし込みクラッチナットで締め込む。注意! ①クラッチナットは10mmの十字レンチなどでしっかりと締めつけて下さい。

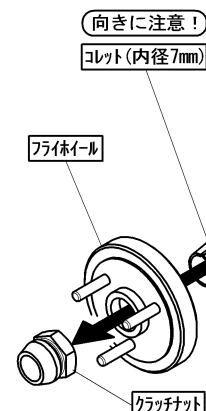


クラッチシューにクラッチスプリングをはめ込み、クラッチピンの奥まで押しこむ。注意! ③クラッチシュー&クラッチスプリングはクラッチナットの溝にスプリングがはまるまで必ず押しこんで下さい。

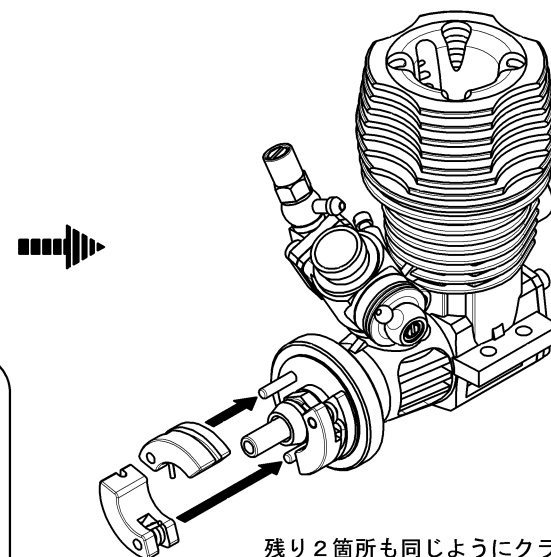


ピコ以外のエンジン

別途ご用意下さい。

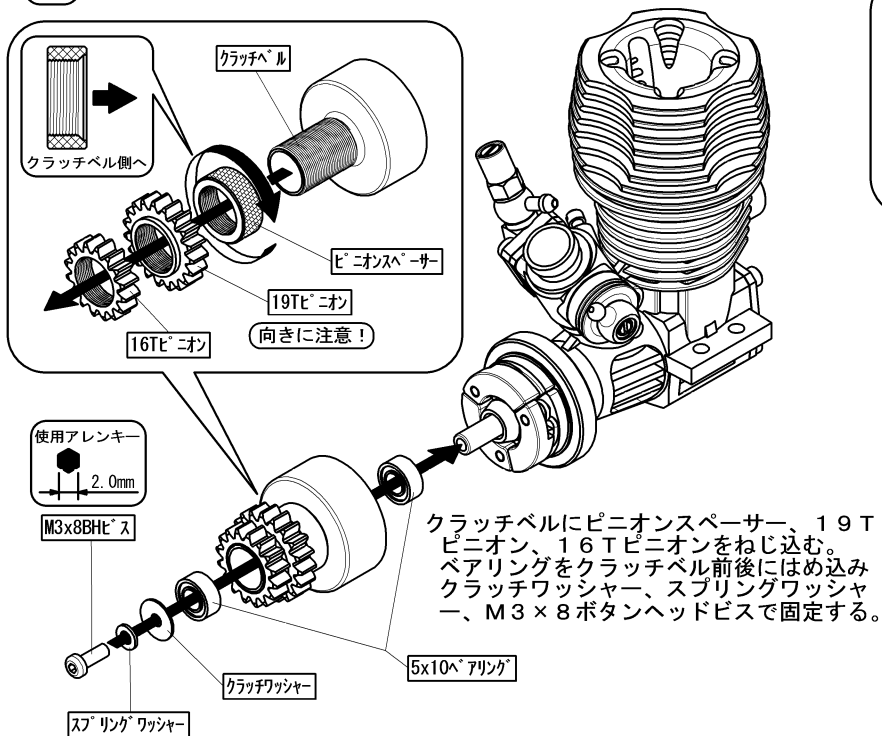


ピコ以外のエンジンの場合はクランクシャフトにコレットワッシャー、コレット(内径7mm)フライホイールをさし込みクラッチナットで締め込む。注意! ②クラッチナットは10mmの十字レンチなどでしっかりと締めつけて下さい。

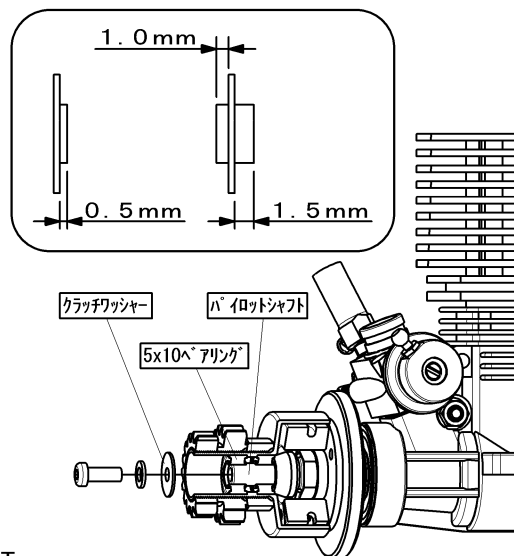


残り2箇所も同じようにクラッチピンに押しこむ。

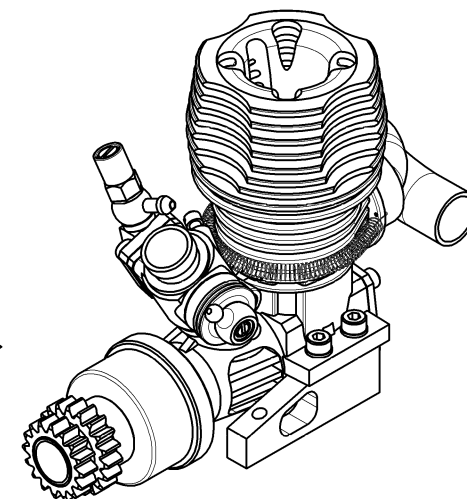
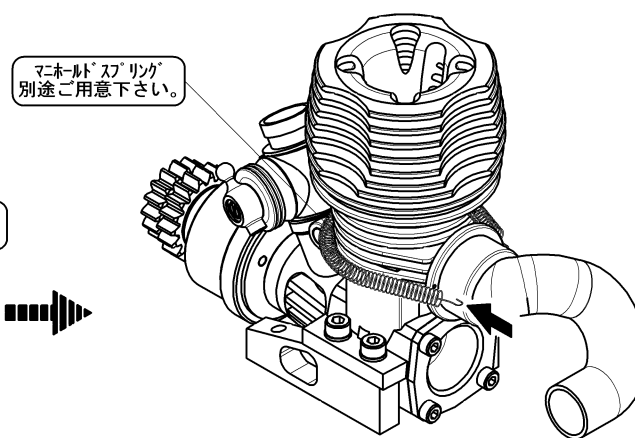
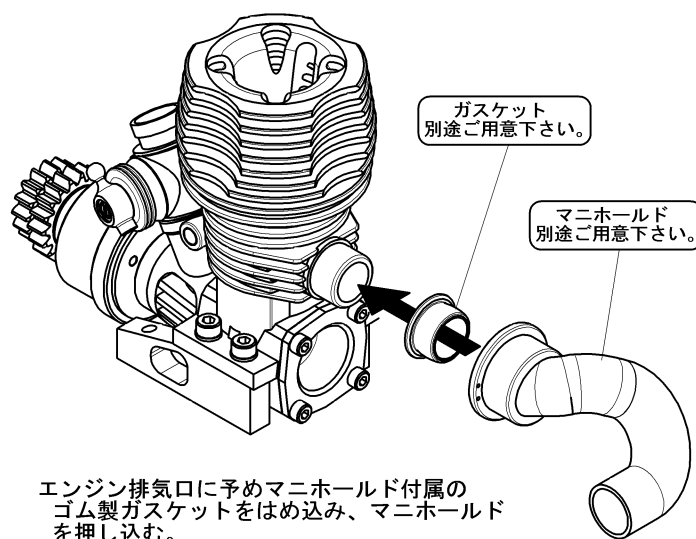
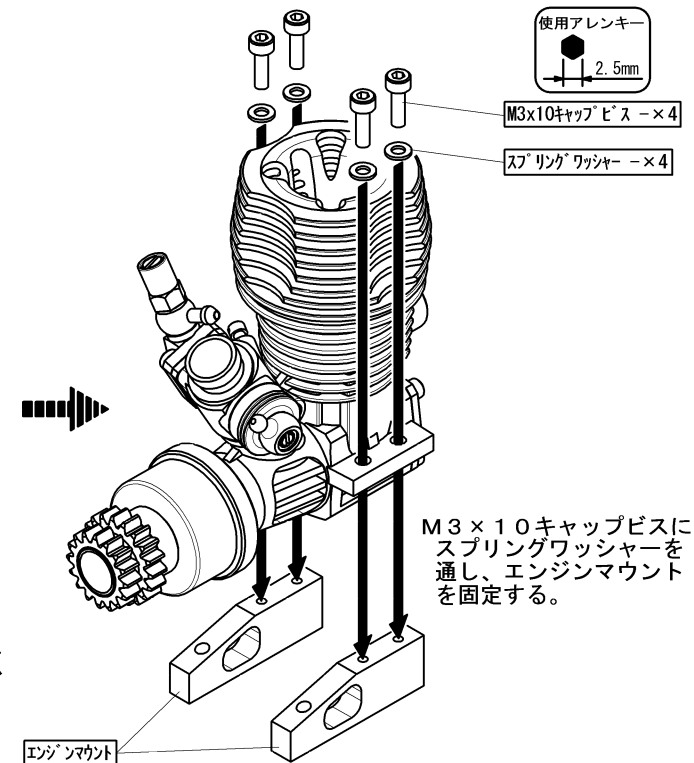
6 クラッチの組立て



クラッチベルにピニオンスペーサー、19Tピニオン、16Tピニオンをねじ込む。ベアリングをクラッチベル前後にはめ込みクラッチワッシャー、スプリングワッシャー、M3×8 ボタンヘッドビスで固定する。

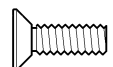


使用するエンジンの種類によってはパイロットシャフトの先端がベアリングより奥に入ってしまうことがあります。そのような時はクラッチワッシャーの向きを変えてクラッチベルに多少のガタが出る様に調整して下さい。



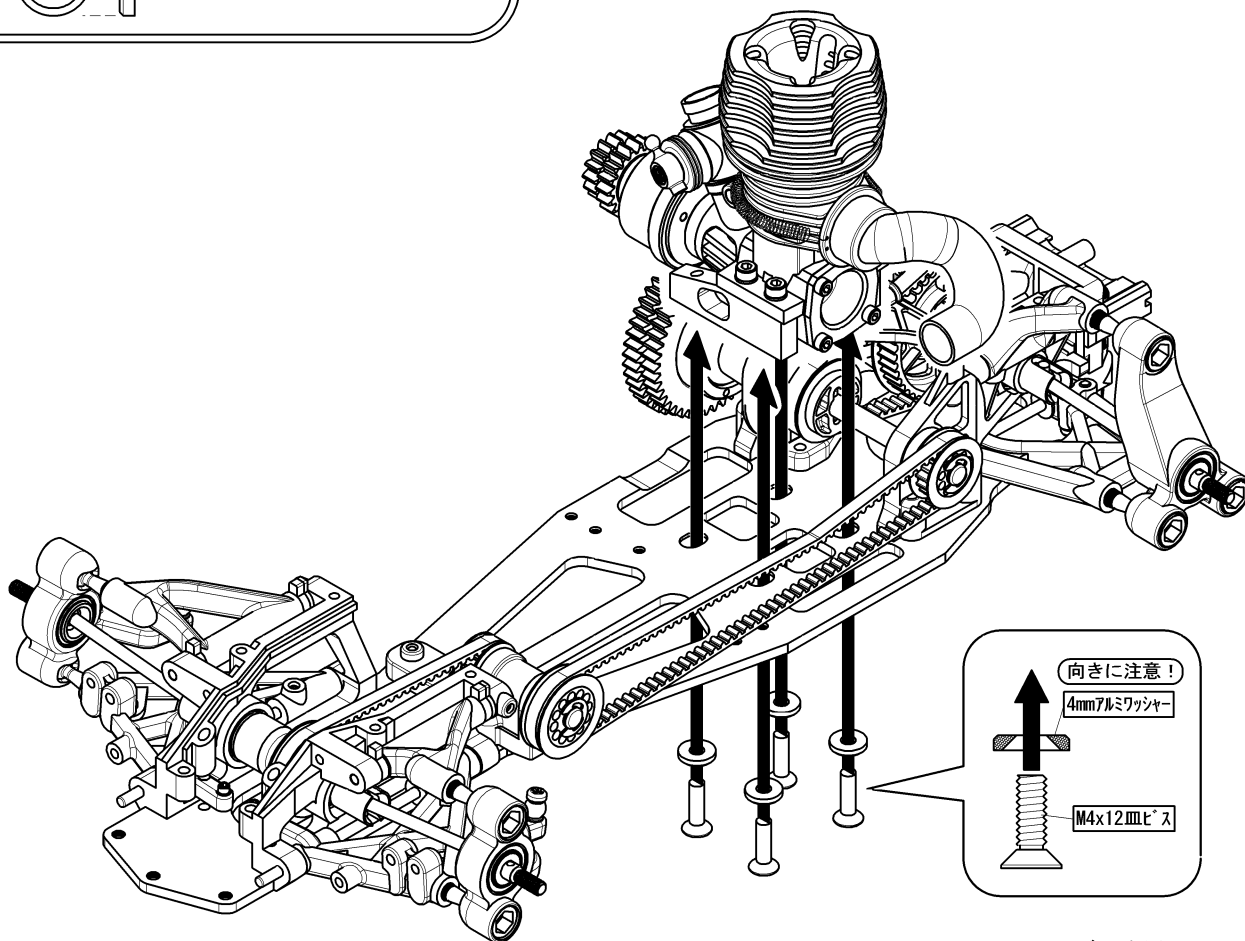
クラッチ組立ての完成!

【 袋⑥ の内容 】

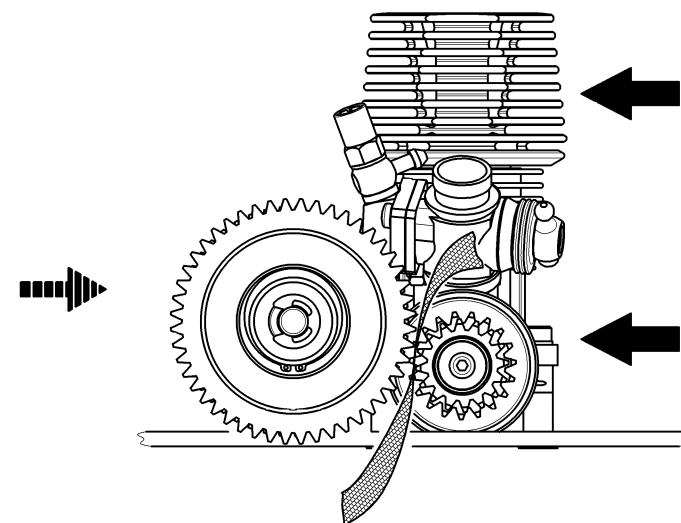
 --×4 M4×12皿ビス

 --×4 4mmアルミワッシャー

7 エンジンの搭載

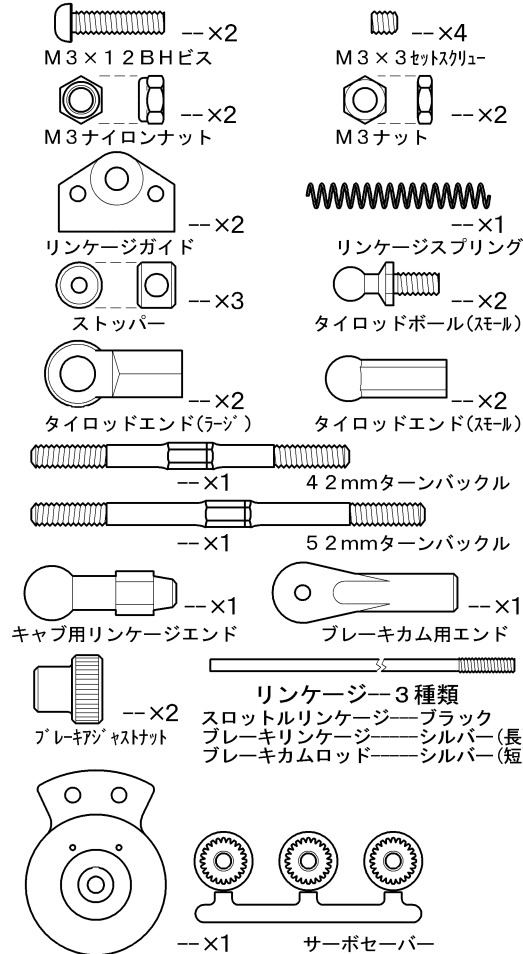


4mmアルミワッシャーにM4×12皿ビスを通し、シャーシ下側からエンジンマウントを仮止めする。

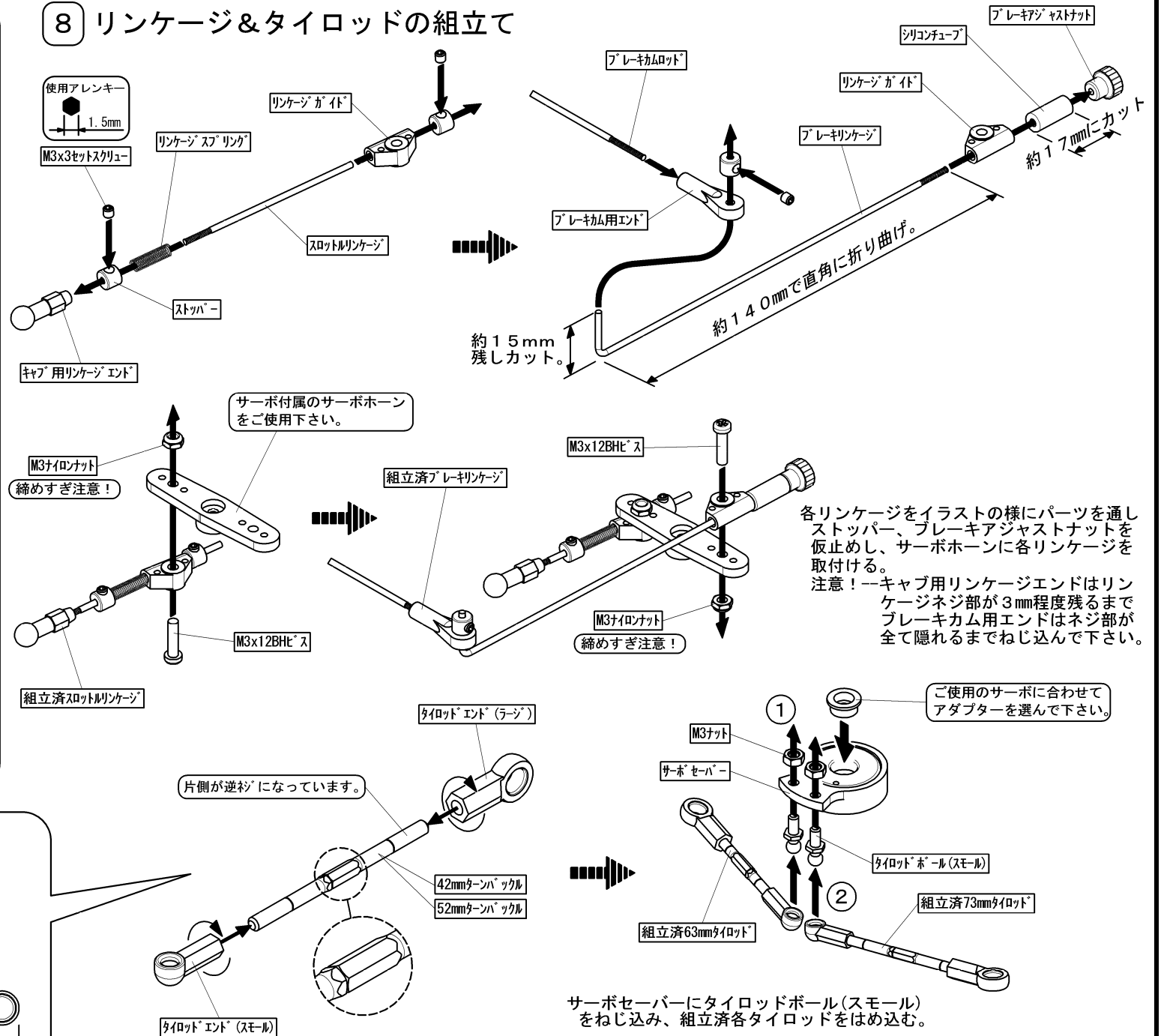


バックラッシュの調整はスパークギヤとピニオンの上に紙一枚をはさみこみエンジンをスパークギヤ側にずらす。ずらした状態でスパークギヤを数回回転し、M4×12皿ビスを本締めする。
注意！—このビスは非常にゆるみやすい為、確実に締めつけて下さい。なお、バックラッシュの調整不足はギヤノイズや破損の原因になりますので、慎重に作業を行ってください。

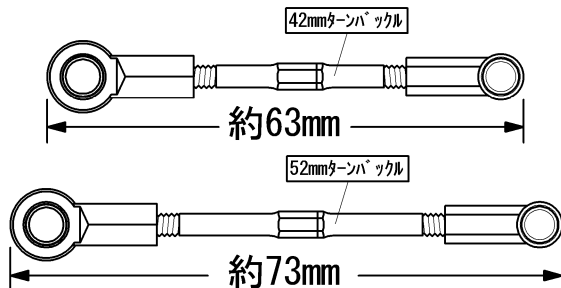
【袋⑦の内容】



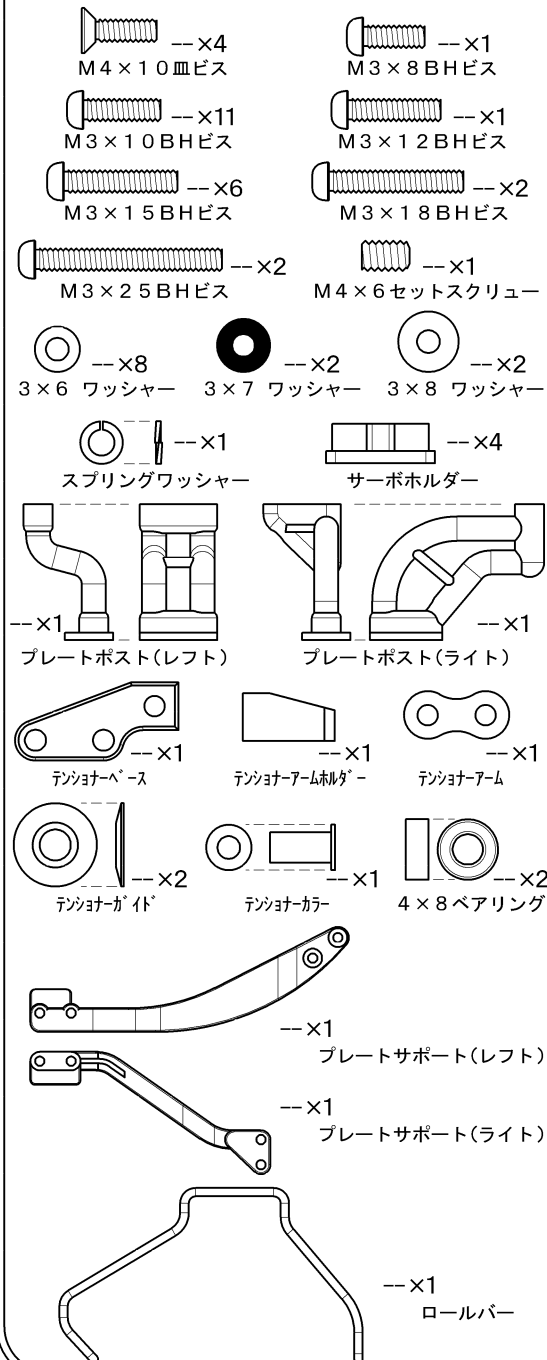
8 リンケージ&タイロッドの組立て



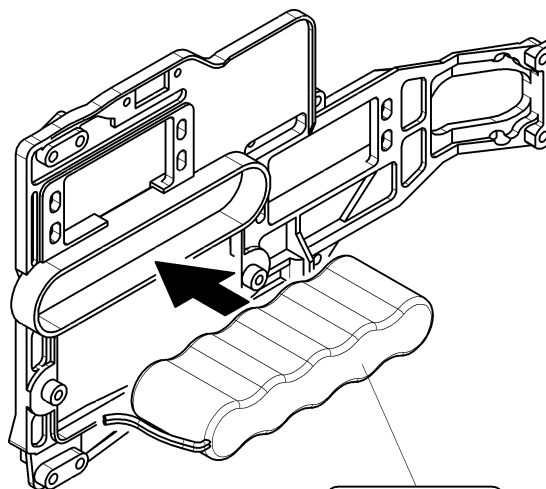
タイロッドの長さをそろえて下さい。



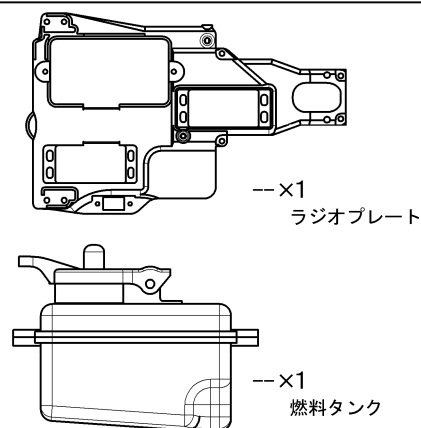
【袋⑧の内容】



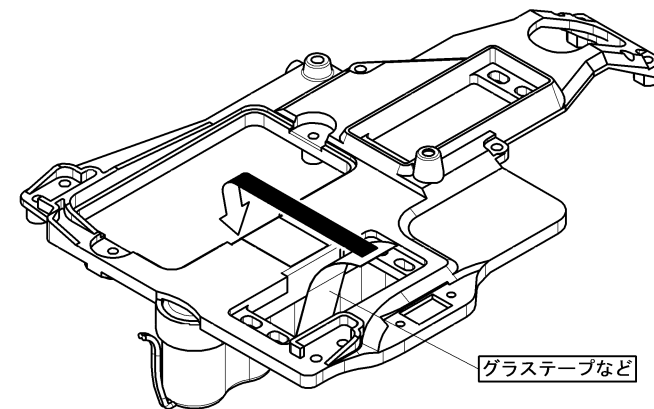
9 ラジオプレートの組立て



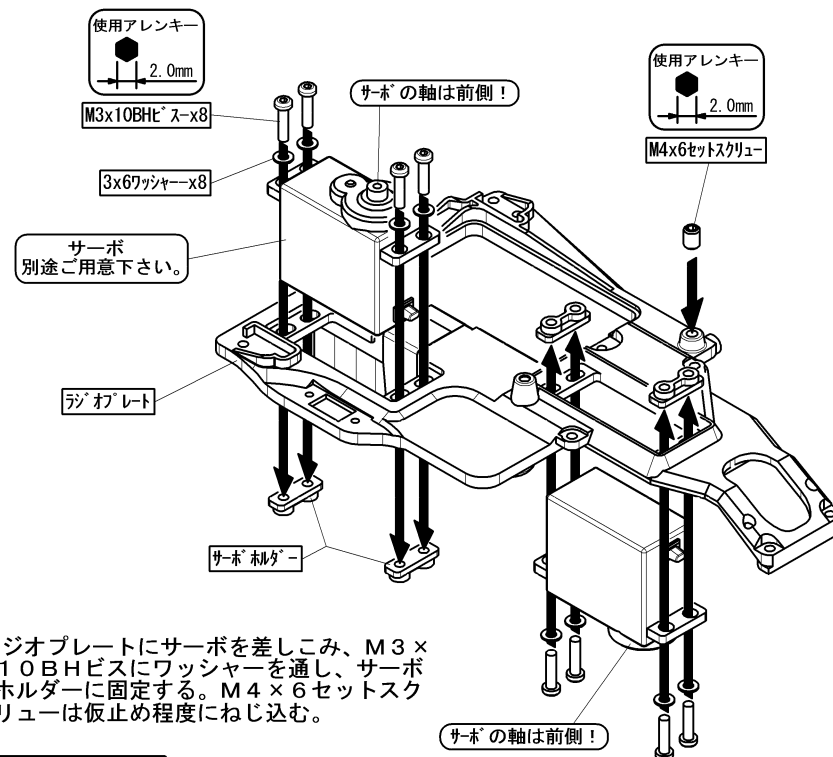
受信機用バッテリーをラジオプレート下側からしっかりと押しこむ。



その他、両面テープ、シリコンチューブも入っています。

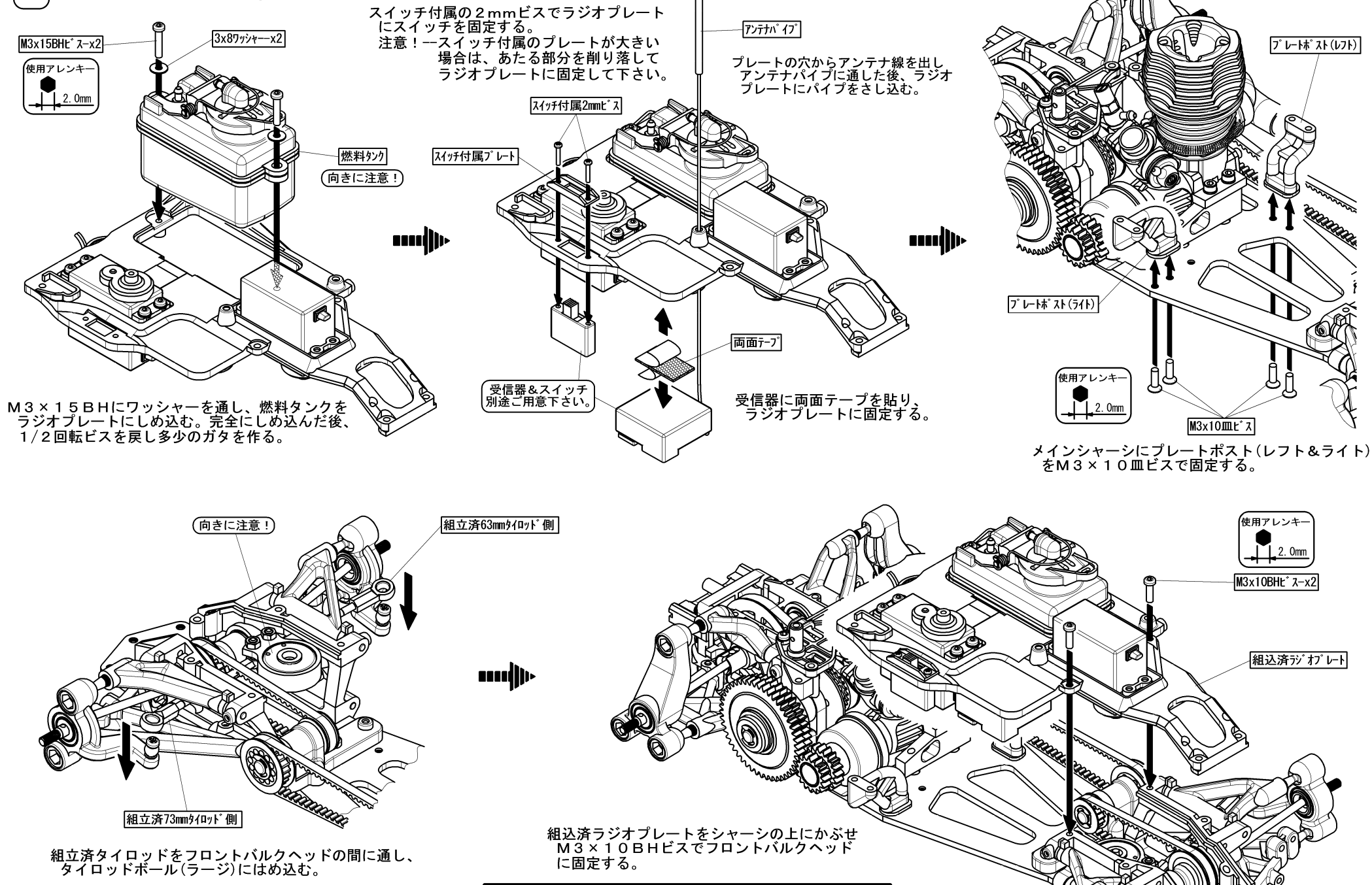


グラステープなどで受信機用バッテリーをしっかりと固定する。



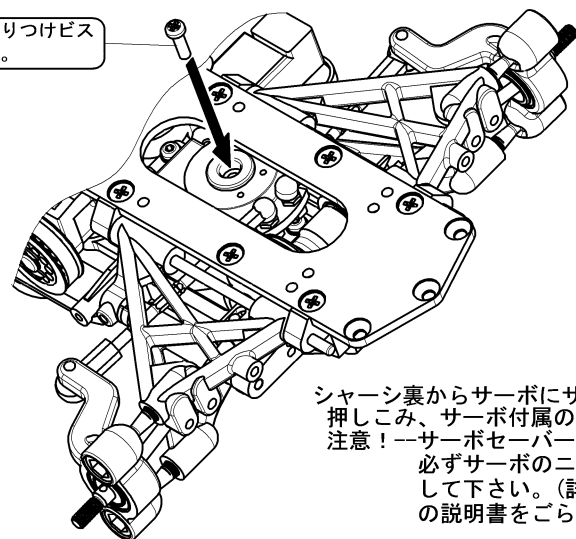
ラジオプレートにサーボを差しこみ、M3×10BHビスにワッシャーを通し、サーボホルダーに固定する。M4×6セットスクリューは仮止め程度にねじ込む。

9 ラジオプレートの組立て

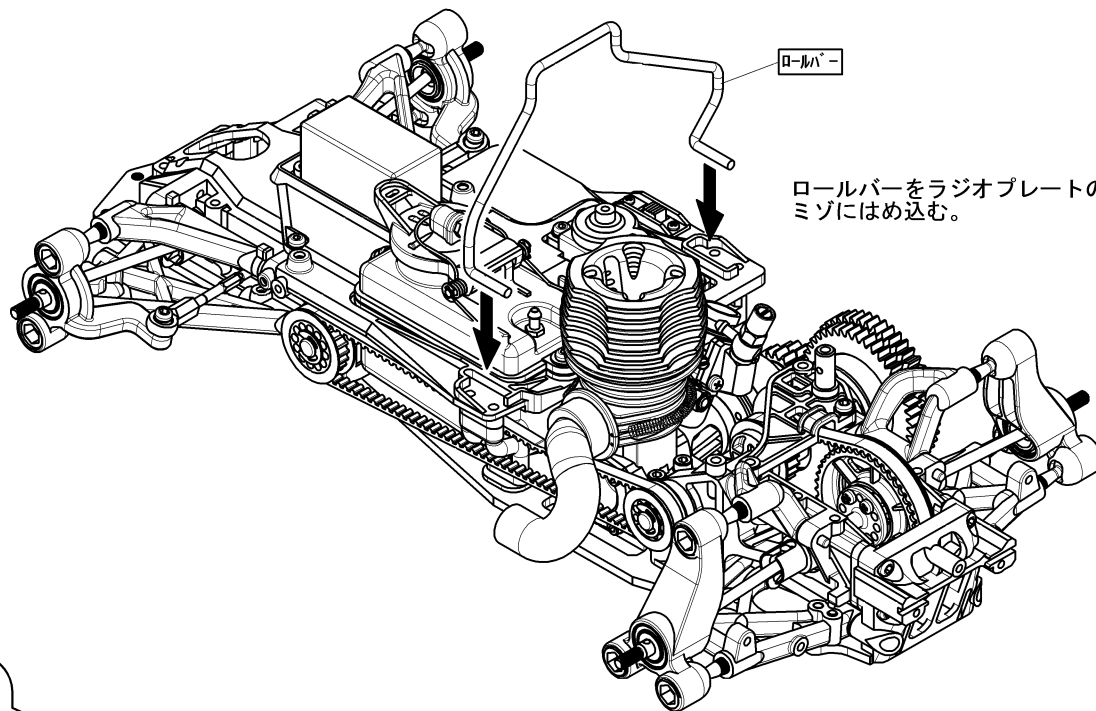


9 ラジオプレートの組立て

サーボ付属の取り付けビス
をご使用下さい。



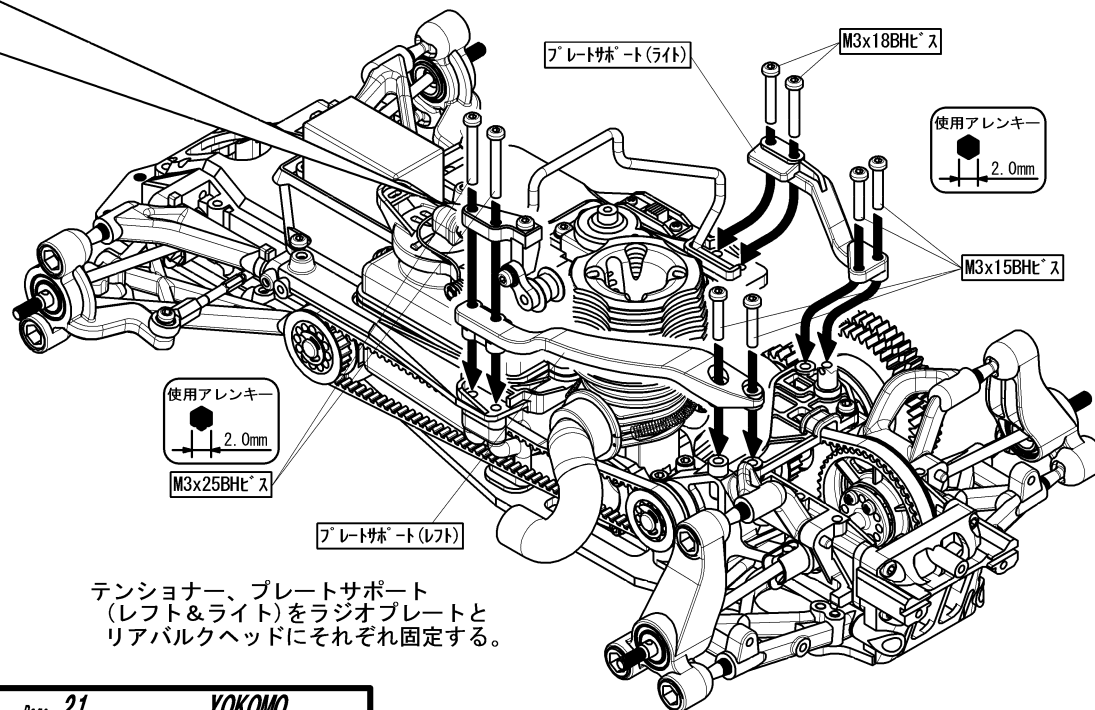
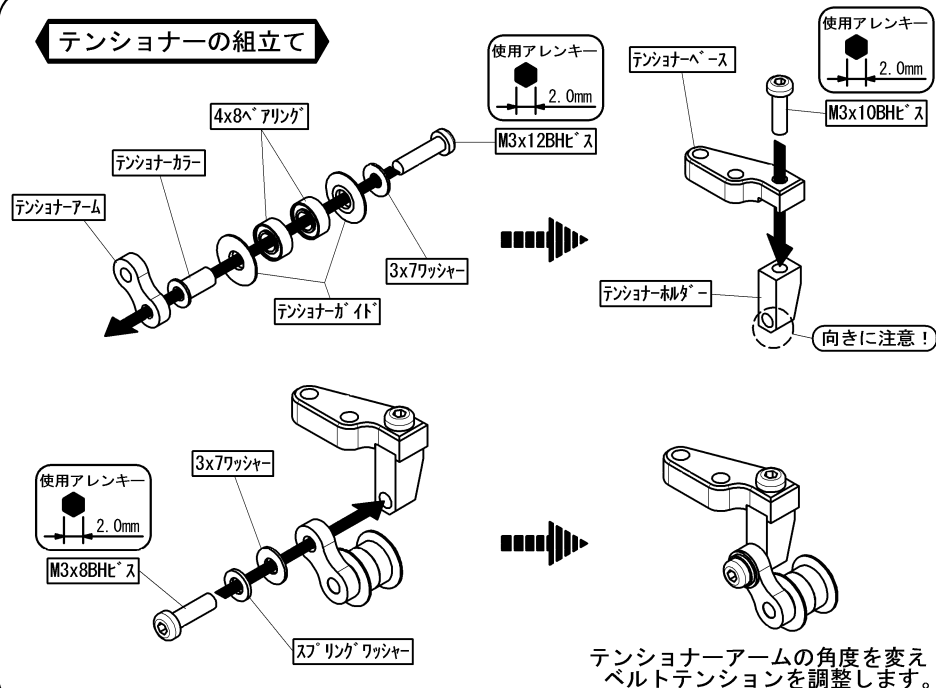
シャーシ裏からサーボにサーボセーバーを
押しこみ、サーボ付属のビスで固定する。
注意！—サーボセーバーを取付ける前に
必ずサーボのニュートラルを出
して下さい。(詳しくはプロポ
の説明書をごらん下さい。)



ロールバー

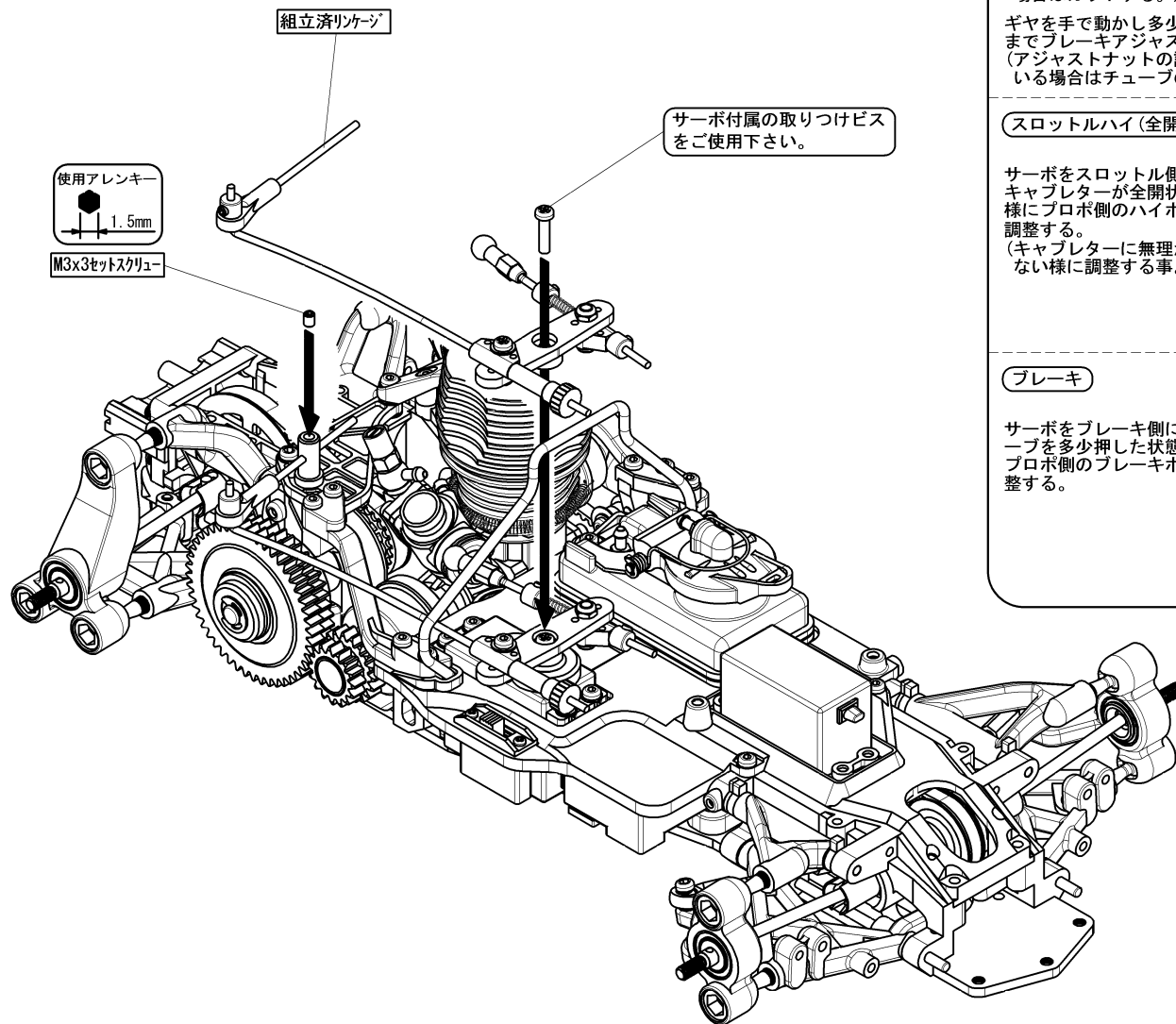
ロールバーをラジオプレートの
ミゾにはめ込む。

テンショナーの組立て



テンショナー、プレートサポート
(レフト&ライト)をラジオプレートと
リアバルクヘッドにそれぞれ固定する。

10 リンケージの取付け



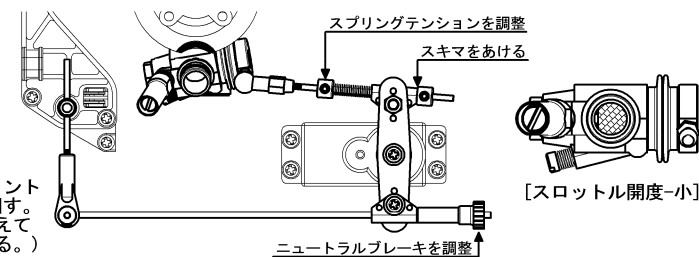
リンケージの調整

※サーボ舵角はプロポのハイポイント及びブレーキポイントで調整して下さい。

ニュートラル

サーボがニュートラルの状態
でリンクガイドとストッパーの
間にわずかなスキマをあける。
(スプリングが張りすぎる
場合はカットする。)

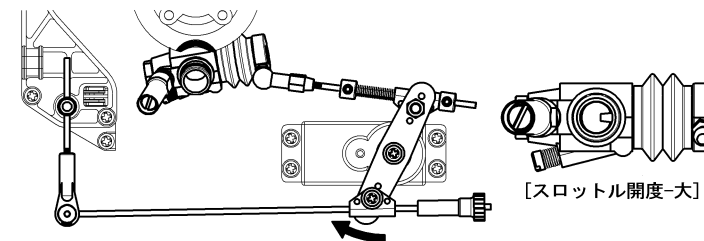
ギヤを手で動かし多少重くなるポイント
までブレーキアジャストナットを回す。
(アジャストナットの調整範囲を超えて
いる場合はチューブの長さを変える。)



ニュートラルブレーキを調整

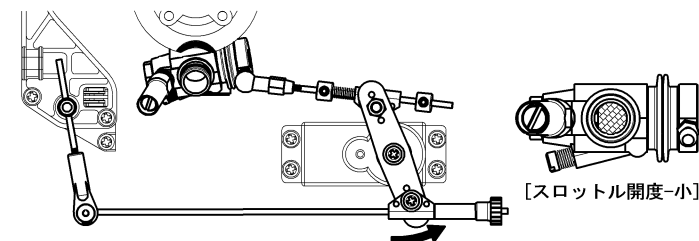
スロットルハイ (全開)

サーボをスロットル側に動かし
キャブレターが全開状態になる
様にプロポ側のハイポイントを
調整する。
(キャブレターに無理が掛から
ない様に調整する事。)



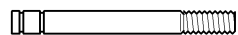
ブレーキ

サーボをブレーキ側に動かしチュ
ーブを多少押した状態になる様に
プロポ側のブレーキポイントを調
整する。



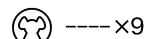
組立済リンクのブレーキ側をカムに通し
M3×3セットスクリューで固定する。
スロットル側はキャブレターボールにはめ込み
最後にサーボホーンをサーボ付属のビスで固定する。
注意！ーサーボホーンを取付ける前に必ずサーボの
ニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポの説明書をごらん下さい。)
リンクを取付けたら上記[リンクの
調整]を必ず実行して下さい。

【 袋⑨ の内容 】



---x4

ショックシャフト



----x9

2mm Eリング

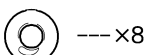


---x2

フロントショックスプリング(グレー)

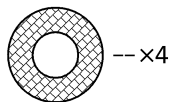
---x2

リアショックスプリング(イエロー)



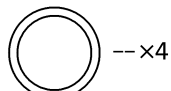
---x8

ショック用Oリング(小)



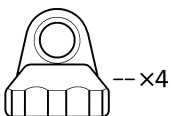
---x4

ショック用スポンジ



---x4

ショック用Oリング(大)



---x4

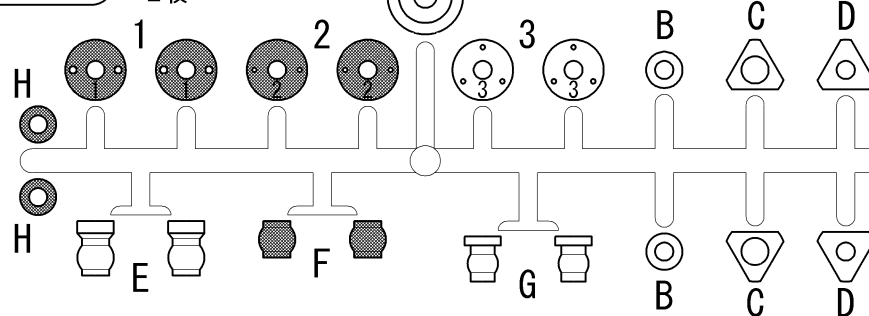
ショックキャップ



---x4

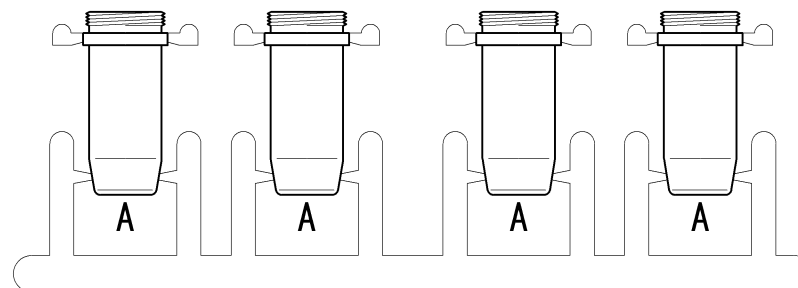
M2x5 タッピングビス

A-部品 x 2 枝

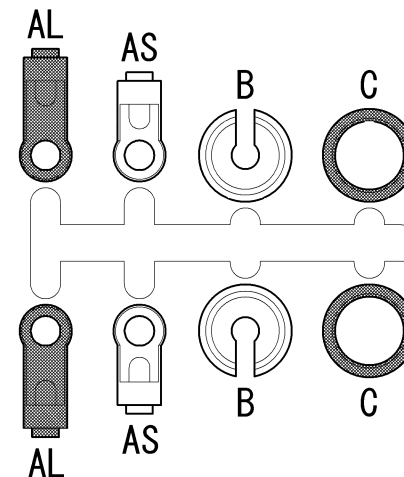


■ 部の部品は
使用しません。

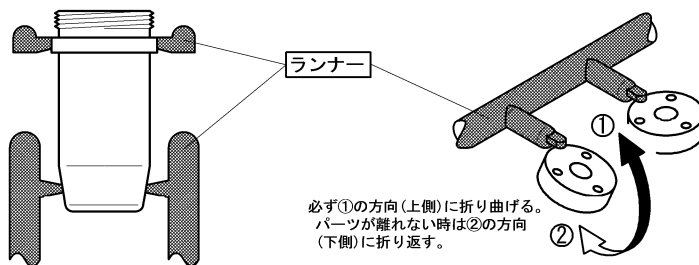
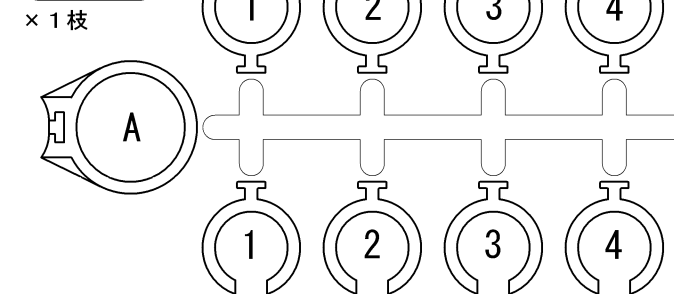
B-部品 x 1 枝



C-部品 x 2 枝

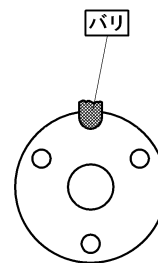


D-部品 x 1 枝



必ず①の方向(上側)に折り曲げる。
パーツが離れない時は②の方向
(下側)に折り返す。

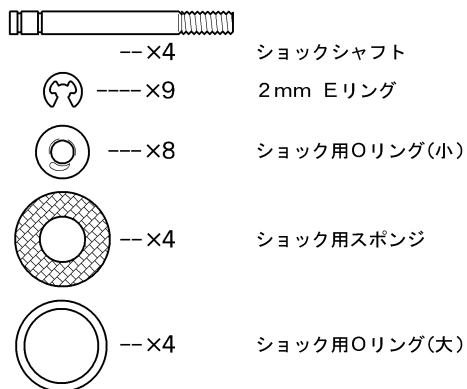
【各ランナーから使用するパーツを切り離す】



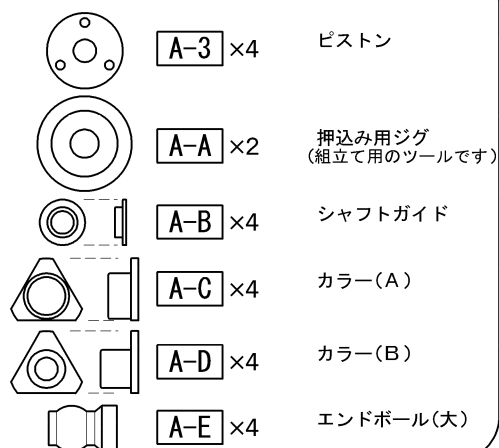
【バリはカッターで切り落とす】

・ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、パーツにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧に切り落として下さい。
(A-部品)は主にダンパー内部で使用するパーツの為、バリなどは絶対に残さないで下さい。バリが残っているとダンパーがスムーズに動かなくなります。)

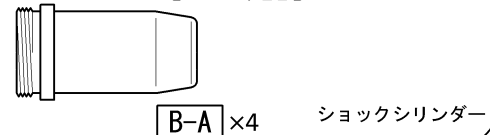
【このページの使用パーツ】



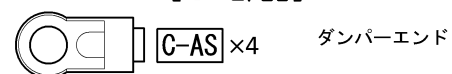
【A-部品】



【B-部品】

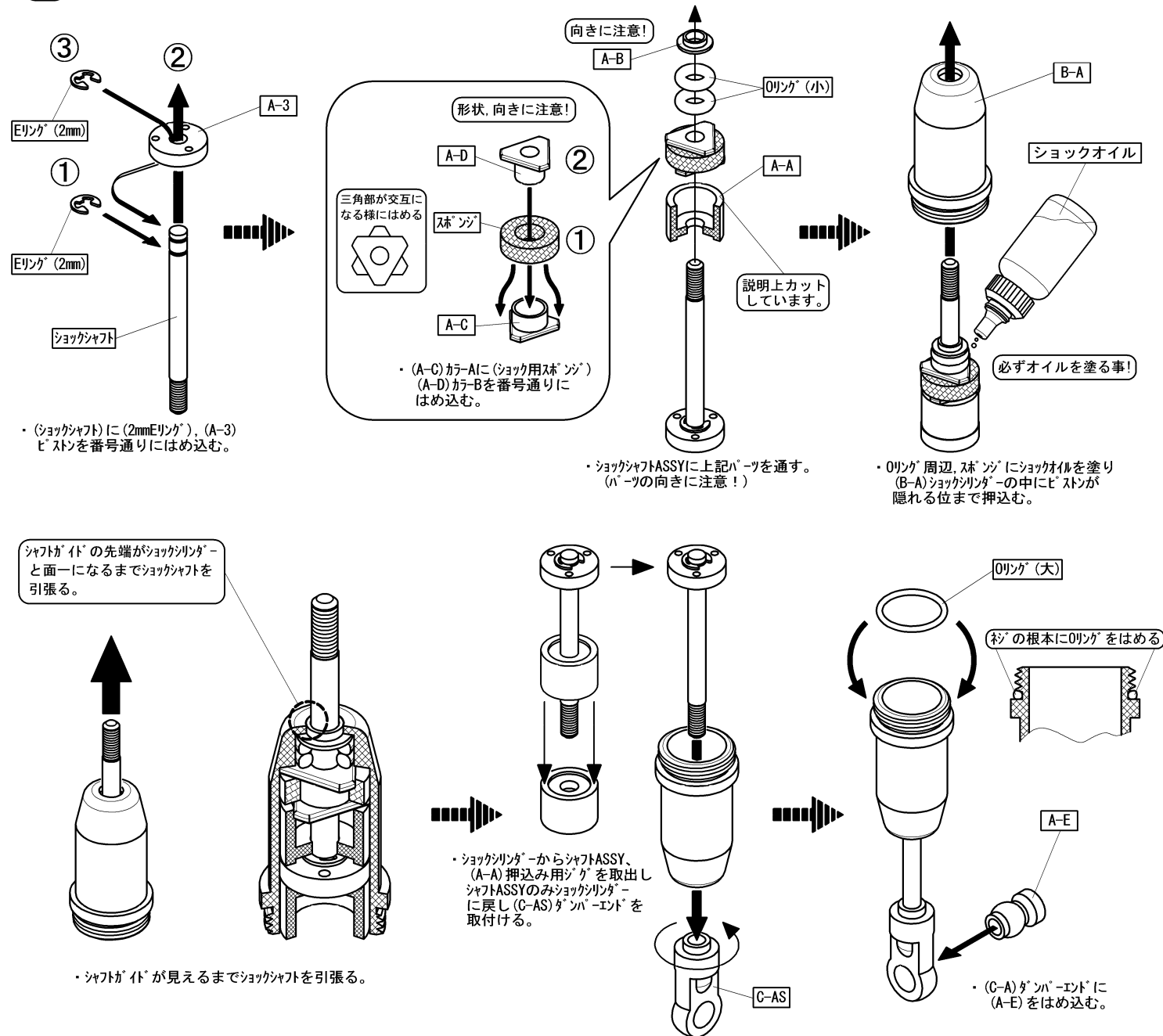


【C-部品】



・ショックオイルは【袋-⑨】に入っています。

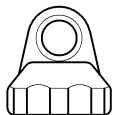
11 前後ダンパーの組立て(本体編-4本作ります。)



【このページの使用パーツ】



—×2 フロントショックスプリング（グレー）
—×2 リアショックスプリング（イエロー）



—×4 ショックキャップ

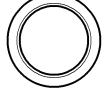


—×4 M2×5 タッピングビス

【C-部品】

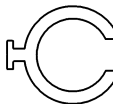


C-B ×4 スプリングストッパー



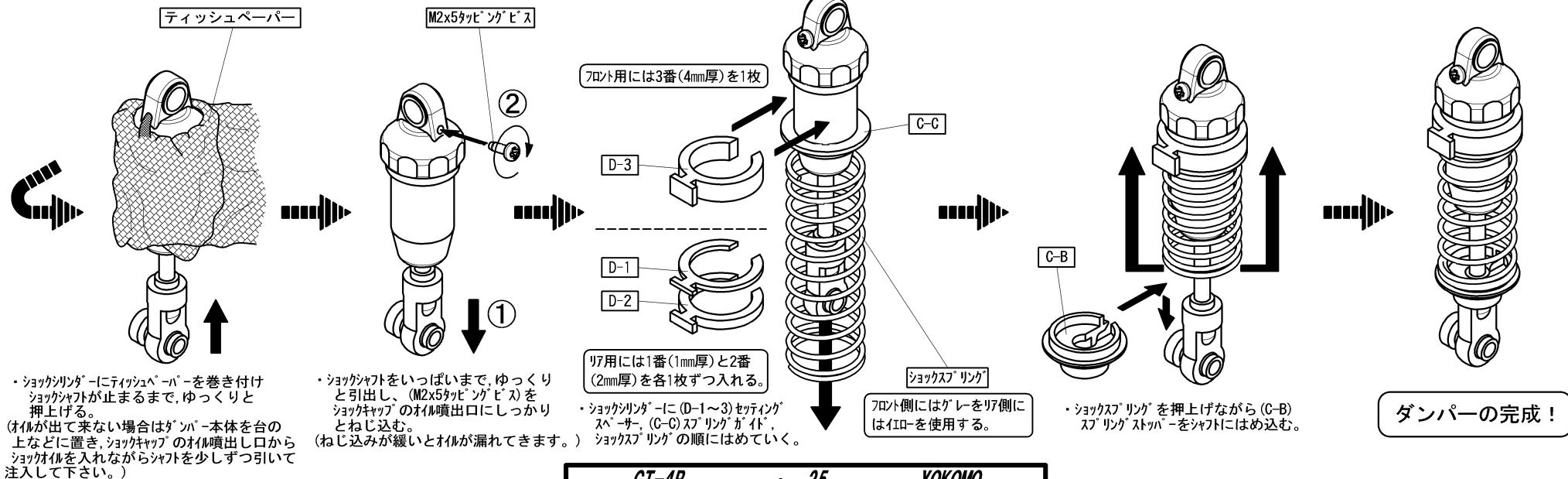
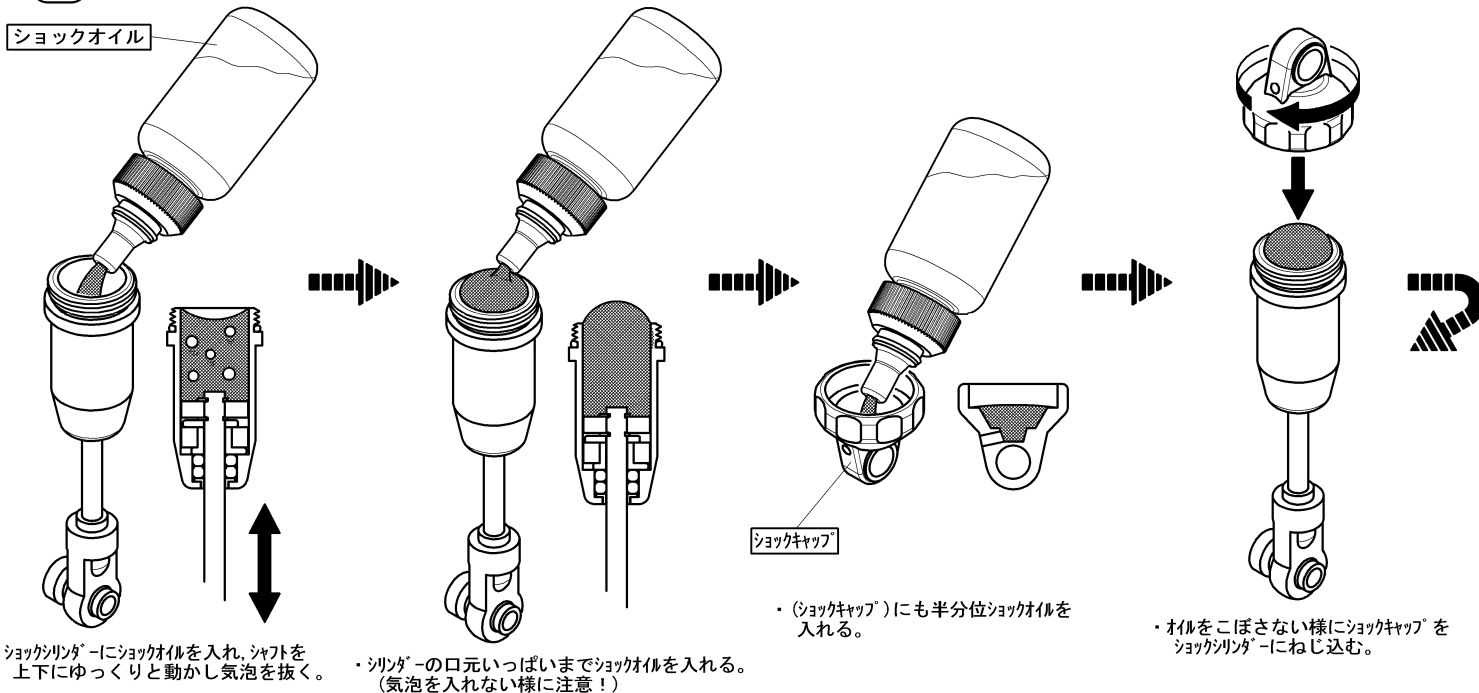
C-C ×4 スプリングガイド

【D-部品】

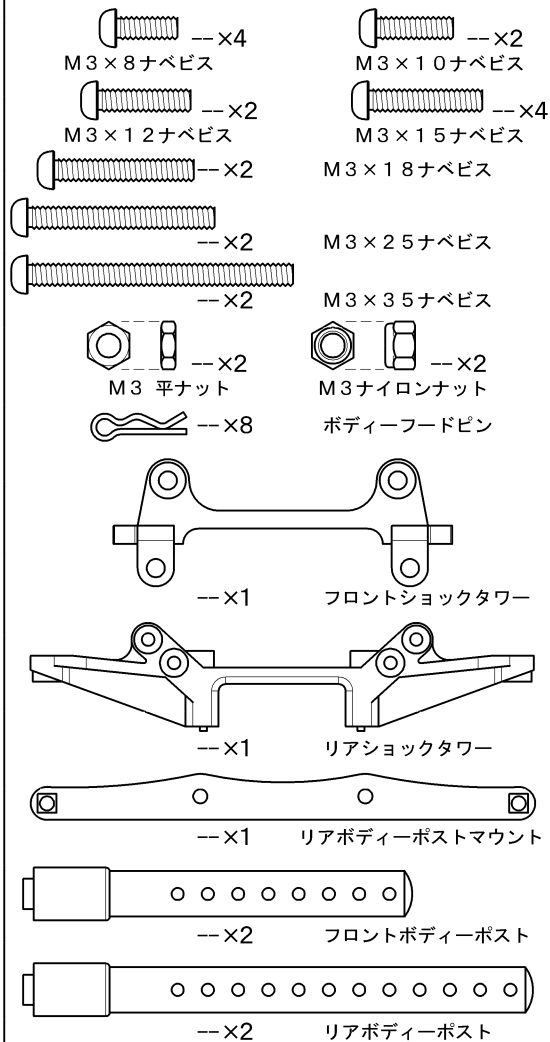


D-1~3 ×各2枚 セッティングスペーサー

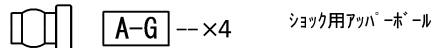
11 前後ダンパーの組立て（オイル注入編-4本作ります。）



【袋⑩の内容】



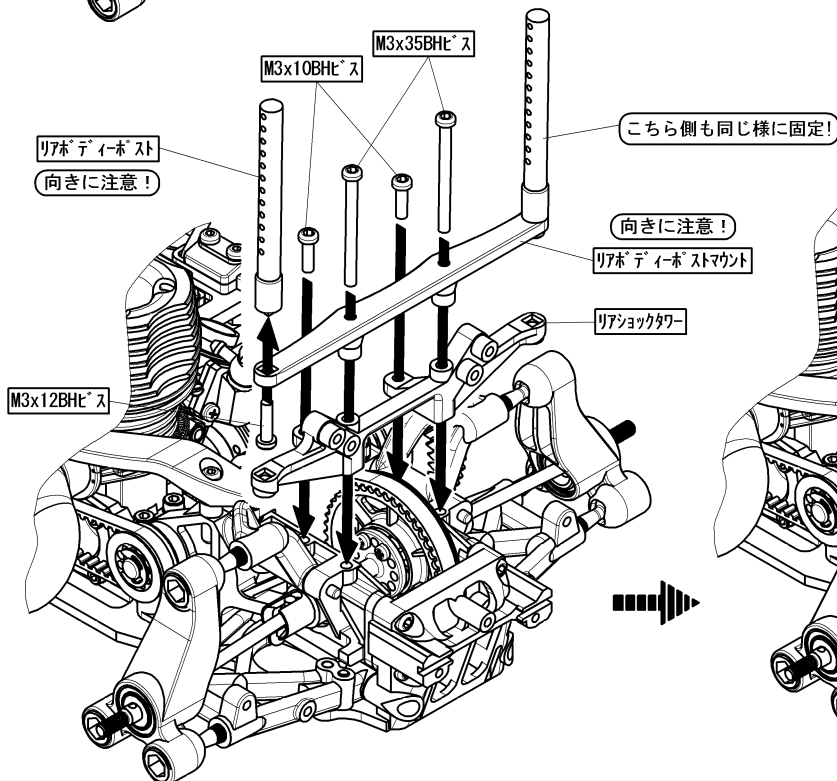
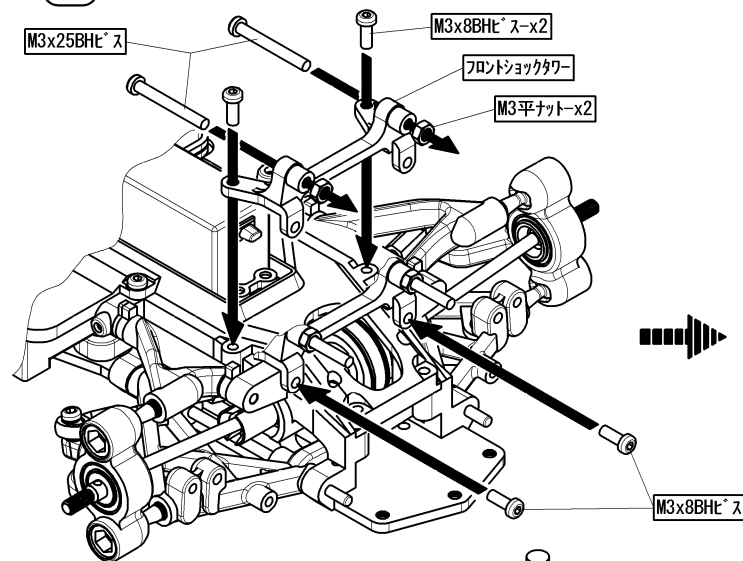
【A-部品】



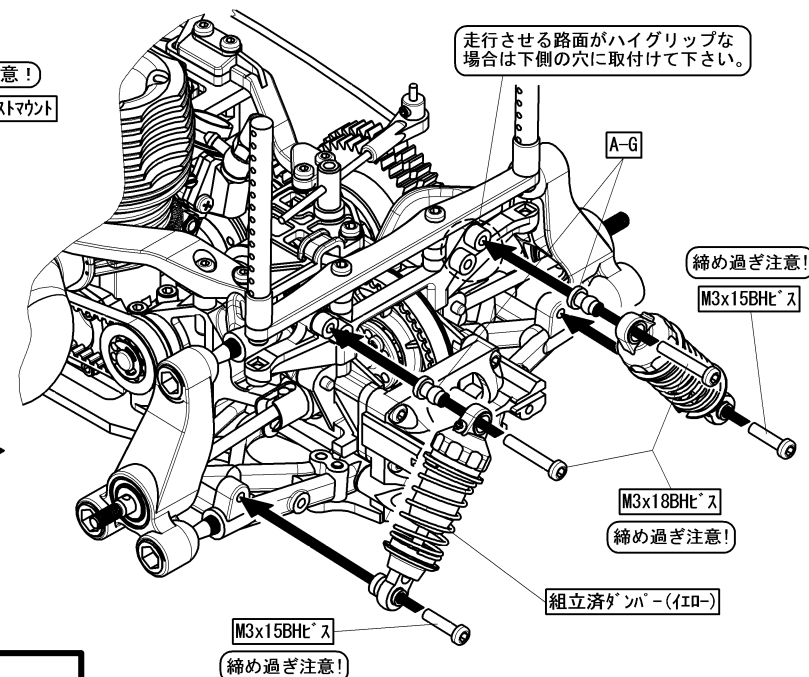
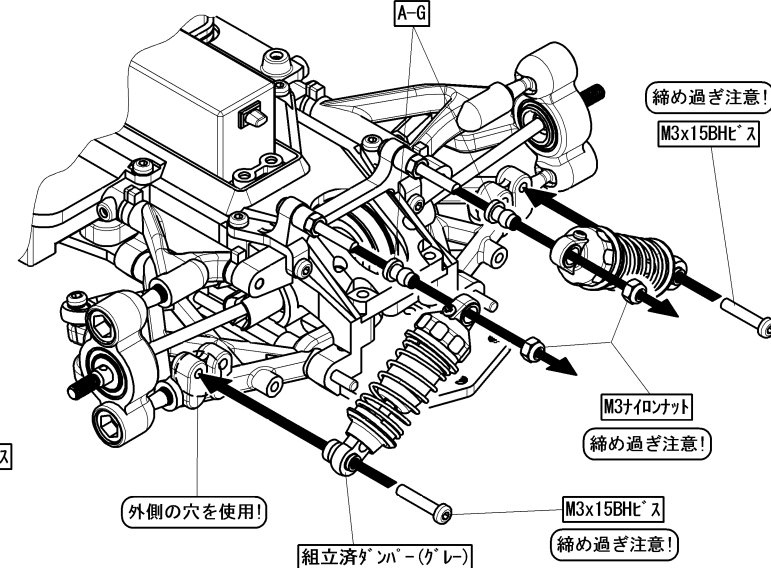
その他、スポンジ、ポリカワッシャーが入っています。

フロント&リアショックタワーをそれぞれ固定し組立済ダンパーを取付ける。
注意！ダンパーを取付けるビスは締めすぎない様にして下さい。樹脂ボールがつぶれ、動きが悪くなります。

12 前後ショックタワー&ダンパーの取付け



このページは全て2.0mmアレンキーを使用します。



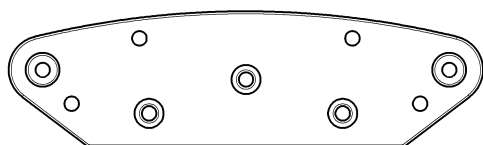
【袋⑪の内容】

→×3 M3.5×10皿タッピングビス

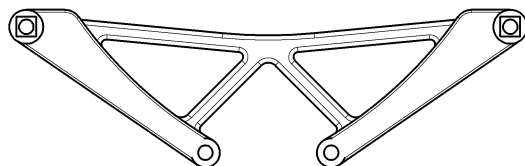
→×2 M3×18皿ビス

→×2 M3×10BHビス

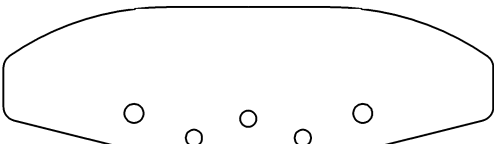
→×2 M3×15BHビス



→×1 フロントバンパー

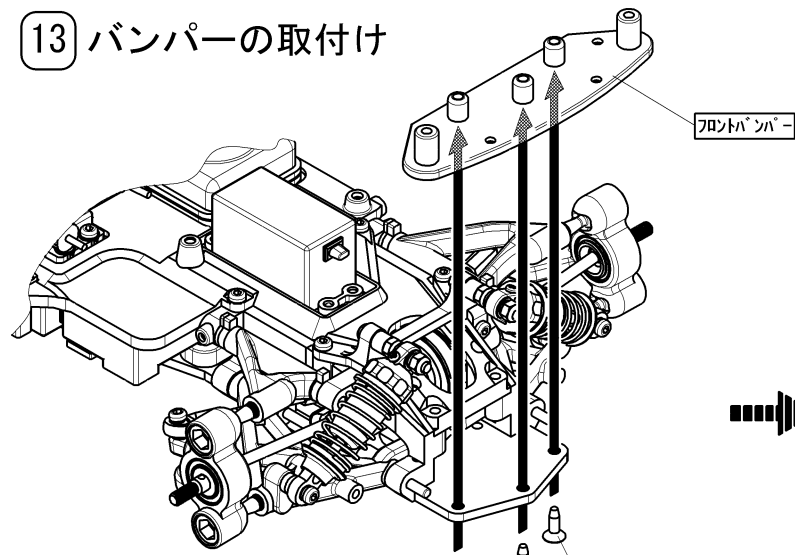


→×1 バンパーサポート



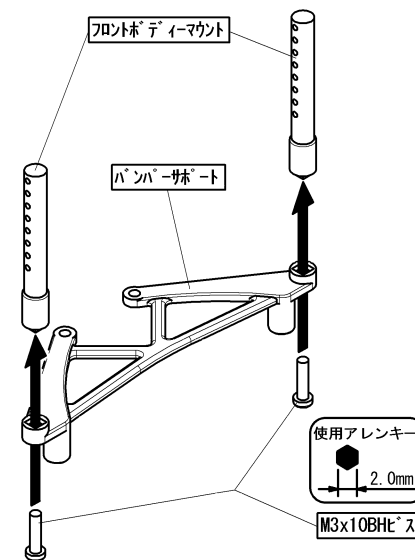
→×1 ウレタンバンパー

13 バンパーの取付け



M3.5×10皿タッピングビスでシャーシ
うらからフロントバンパーを固定する。

M3.5x10皿タッピングビス



使用アレンキー

2.0mm

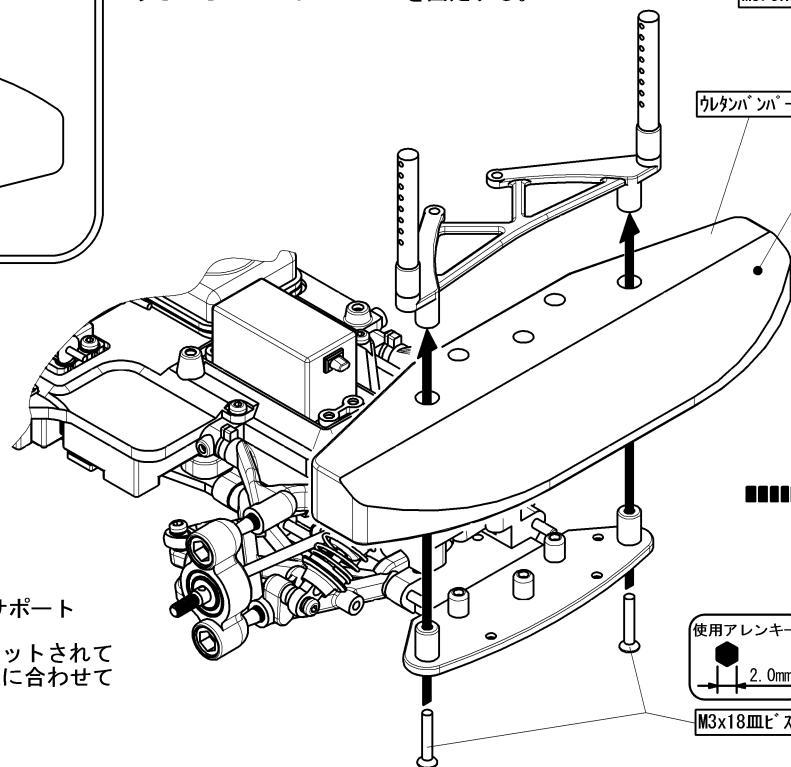
M3x10BHビス

使用アレンキー

2.0mm

M3x15BHビス

ボディに合わせサナメに
カットして下さい。

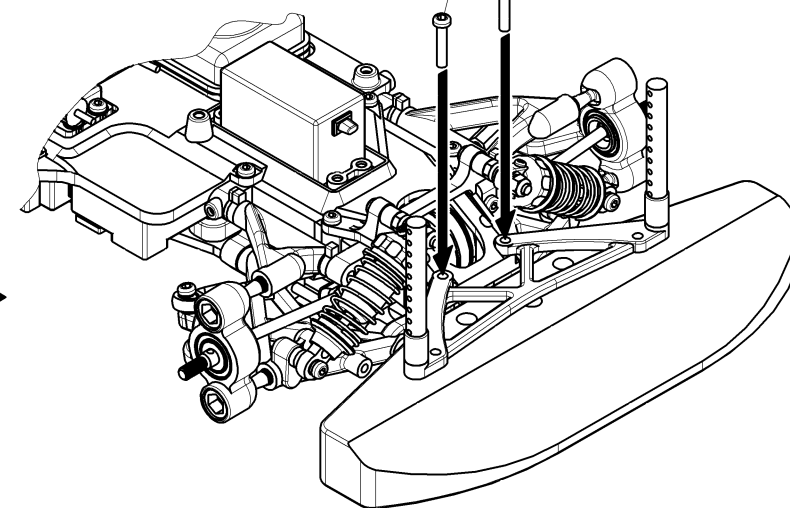


使用アレンキー

2.0mm

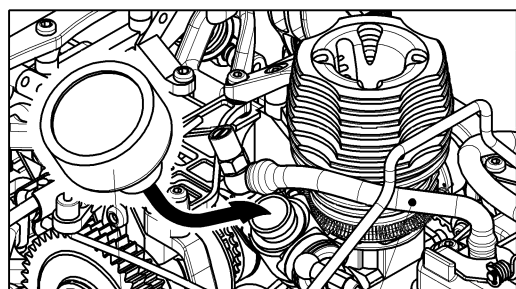
M3x18皿ビス

ウレタンバンパーを押しこみバンパーサポート
をM3×18皿ビスで固定する。
注意！ウレタンバンパーの前方はカットされて
いませんので、ボディ形状に合わせて
カットして下さい。



M3×15BHビスでバルクヘッドと共に締めする。

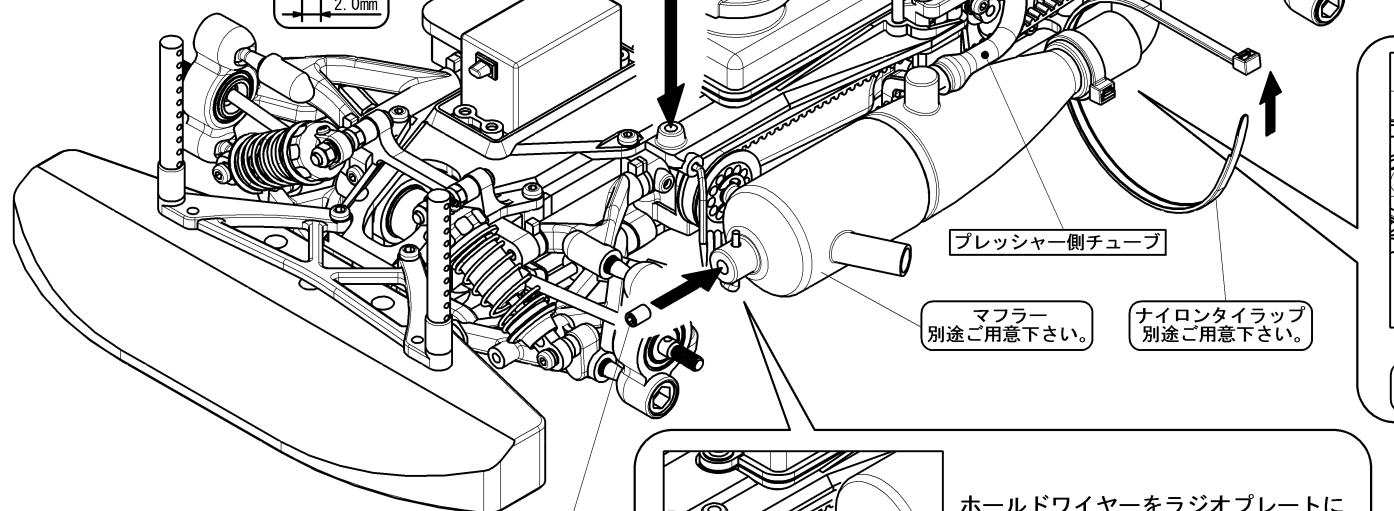
14 マフラー & 燃料チューブ & エアクリーナーの取付け



エアクリーナー
別途ご用意下さい。

燃料側チューブ

M4x6セットスクリュー

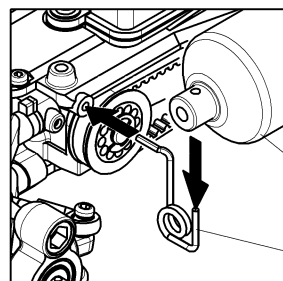
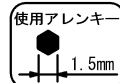


プレッシャー側チューブ

マフラー
別途ご用意下さい。

ナイロンタイラップ
別途ご用意下さい。

M3x4セットスクリュー



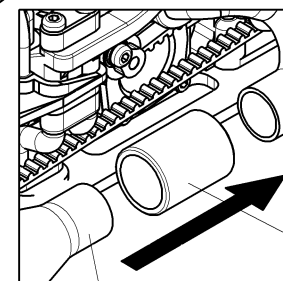
ホールドワイヤーをラジオプレートに
さし込み、マフラー先端部の穴を
ワイヤーに差し込む。

マフラー
別途ご用意下さい。

ホールドワイヤー
別途ご用意下さい。

マフラーの仮つけができたなら、シリコンパイプに
ナイロンタイラップ2本でキツめにしぼる。
ホールドワイヤー2箇所を各セットスクリュー
で固定する。
シリコンチューブを適度な長さにカットし、イラ
ストのようにプレッシャー側、燃料側のニップル
につなぎ、キャブレターにエアクリーナーを取付
ける。

注意！マフラーはエンジンの振動を直接受け
る場所ですので、しっかりと固定して
下さい。



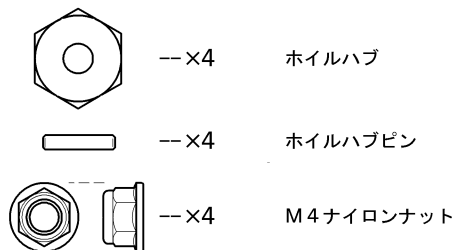
マニホールド

シリコンパイプにマニホールド
マフラーを深く差し込む。
マフラーを深く差し込む。

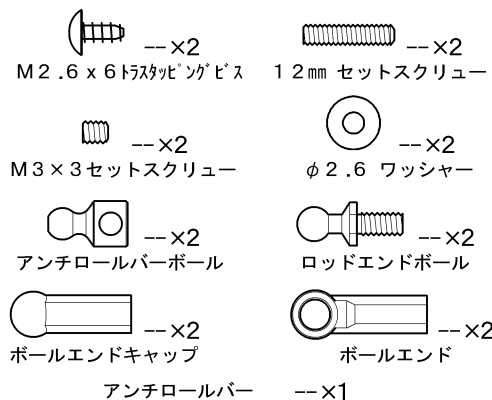
シリコンパイプ
別途ご用意下さい。

マフラー
別途ご用意下さい。

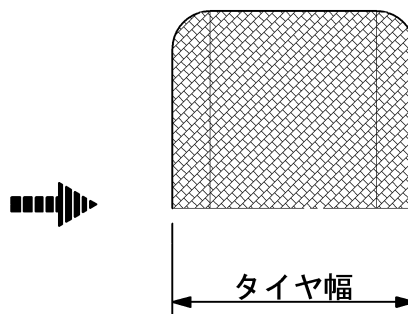
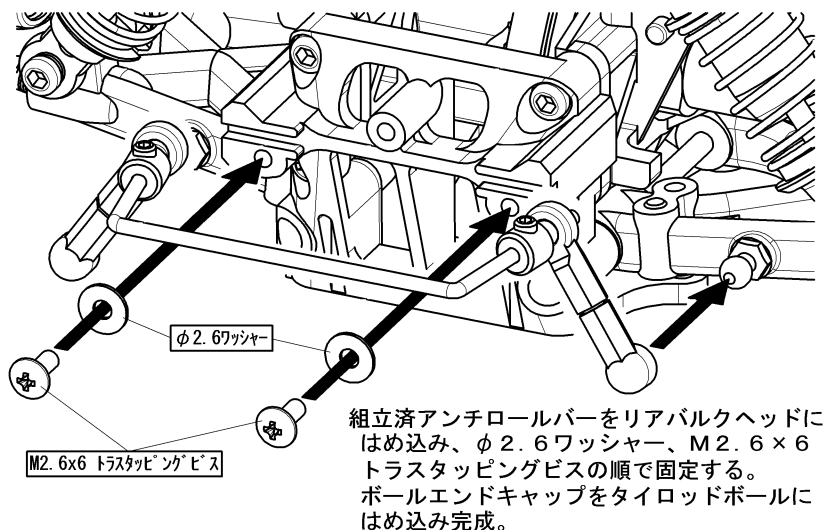
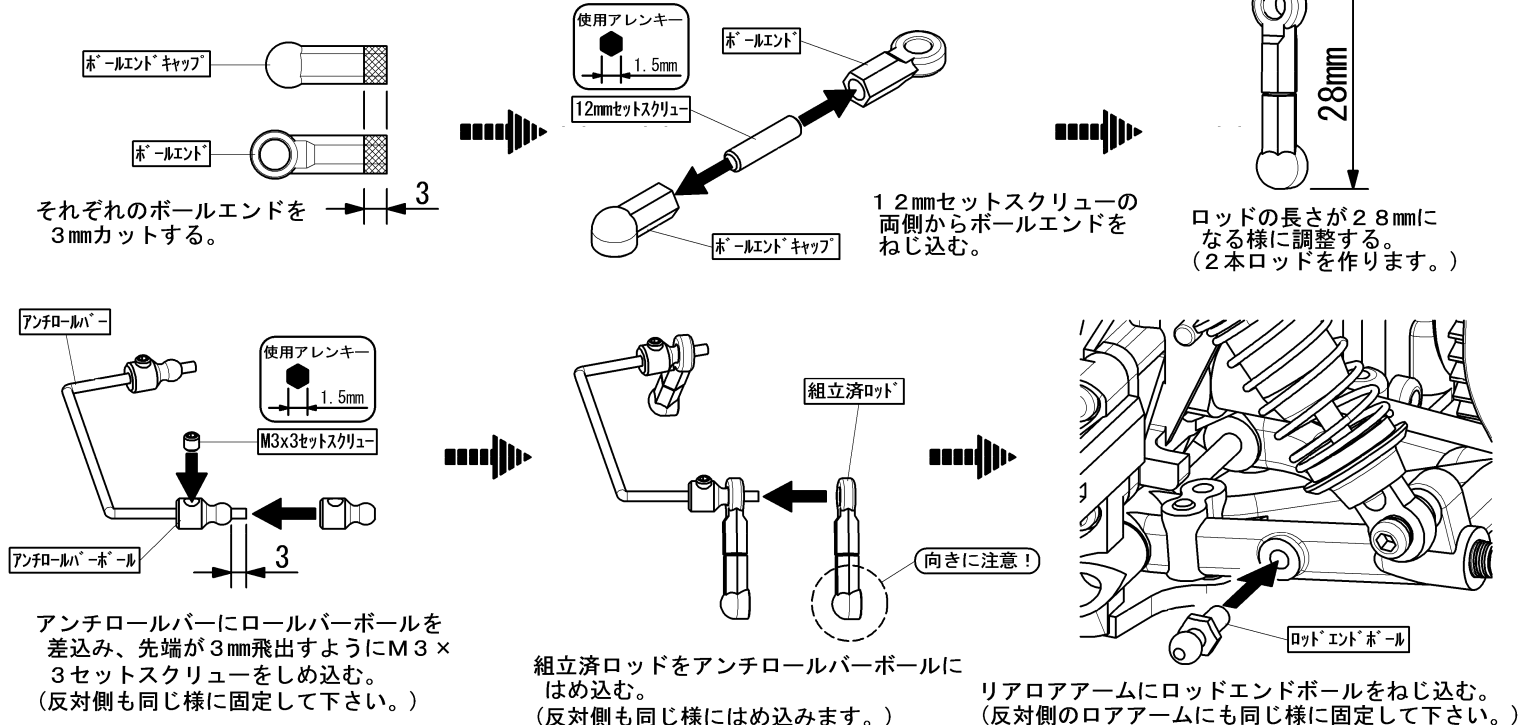
【 袋⑬ の内容 】



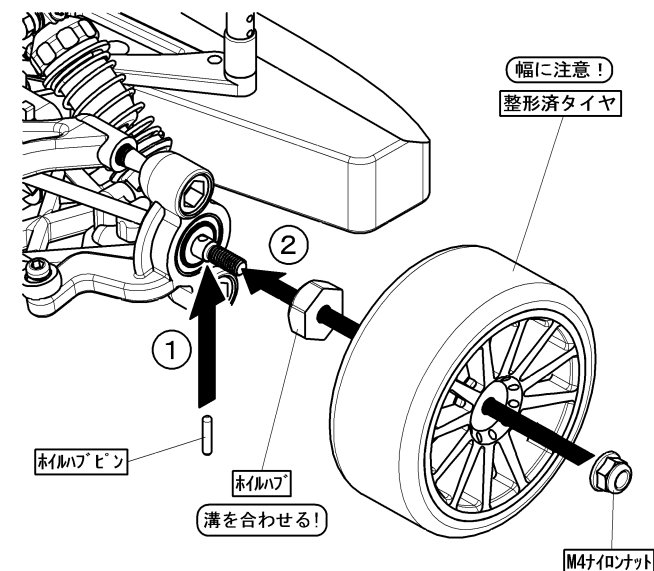
【 リアアンチロールバー 】



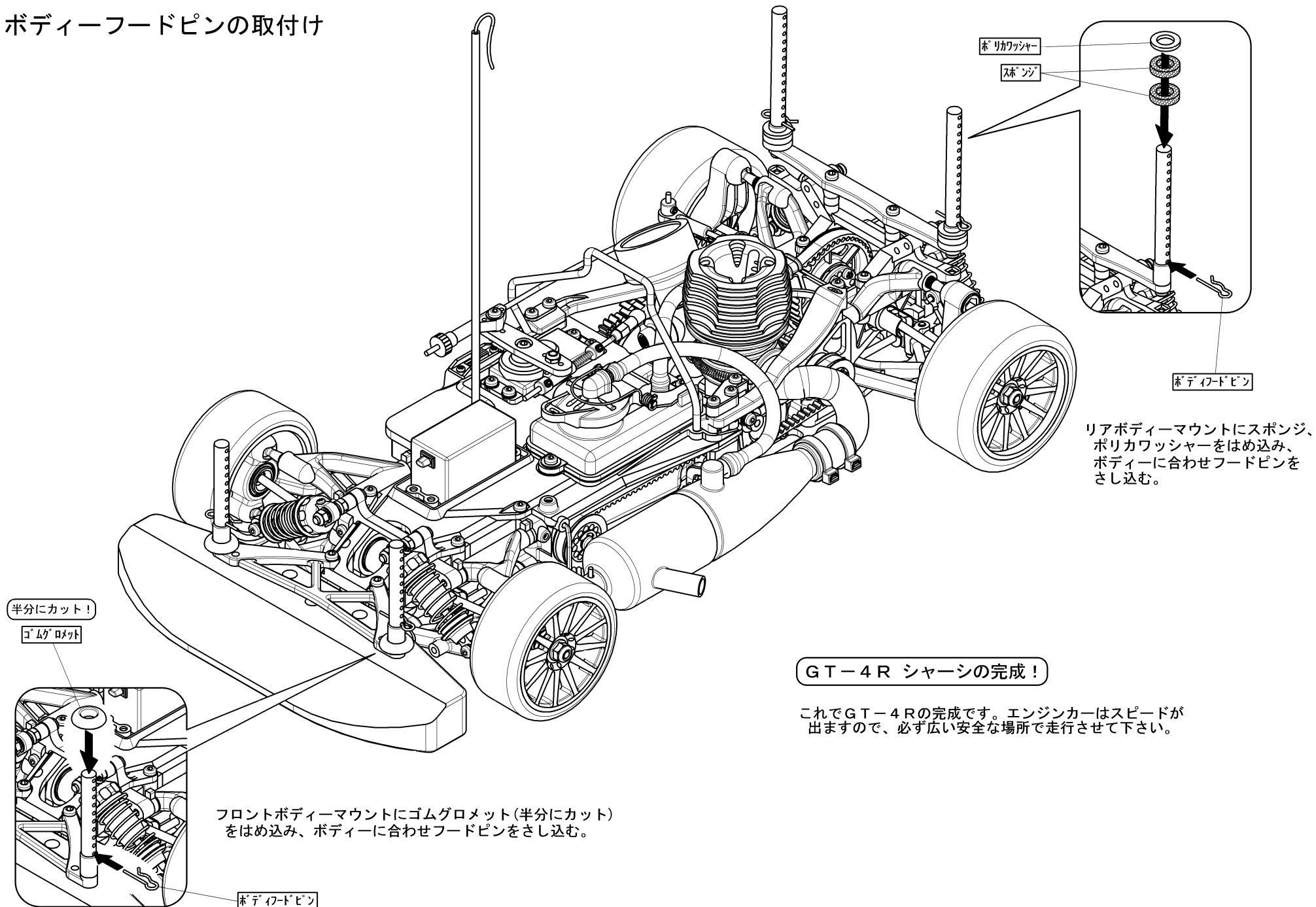
15 リアアンチロールバー&タイヤの取付け



整形済タイヤは前後で幅が違います。幅が狭いタイヤ(26mm)はフロントへ幅が広いタイヤ(32mm)はリアへ取付けて下さい。



16 ボディーフードピンの取付け

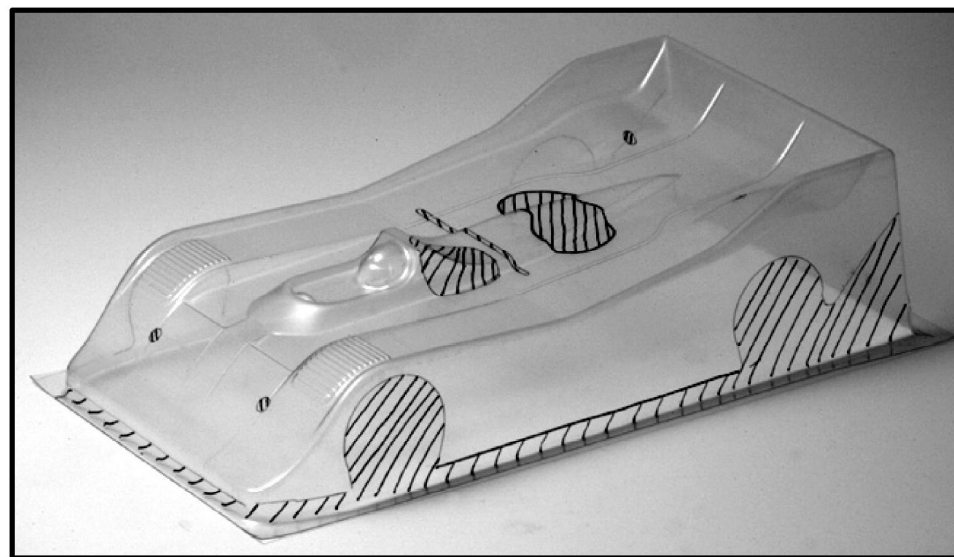


17 ボディのカット

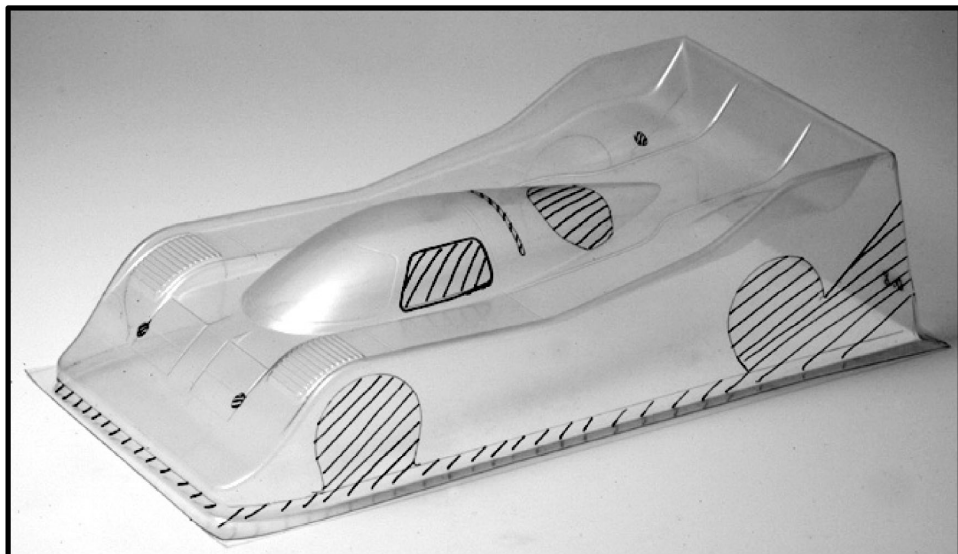
ボディカット①

- ・ 完成したシャシーに合わせて、写真の斜線部の様に給油口（燃料タンクキャップ部）、エンジン、ロールバー部をカットします。
- ※各開口部はボディが干渉しないようにカットして下さい。
- ・ ボディマウント用の6mmの穴を4ヶ所開けます。

太郎GT-ONEボディのカット部分



花子GT-Pボディのカット部分



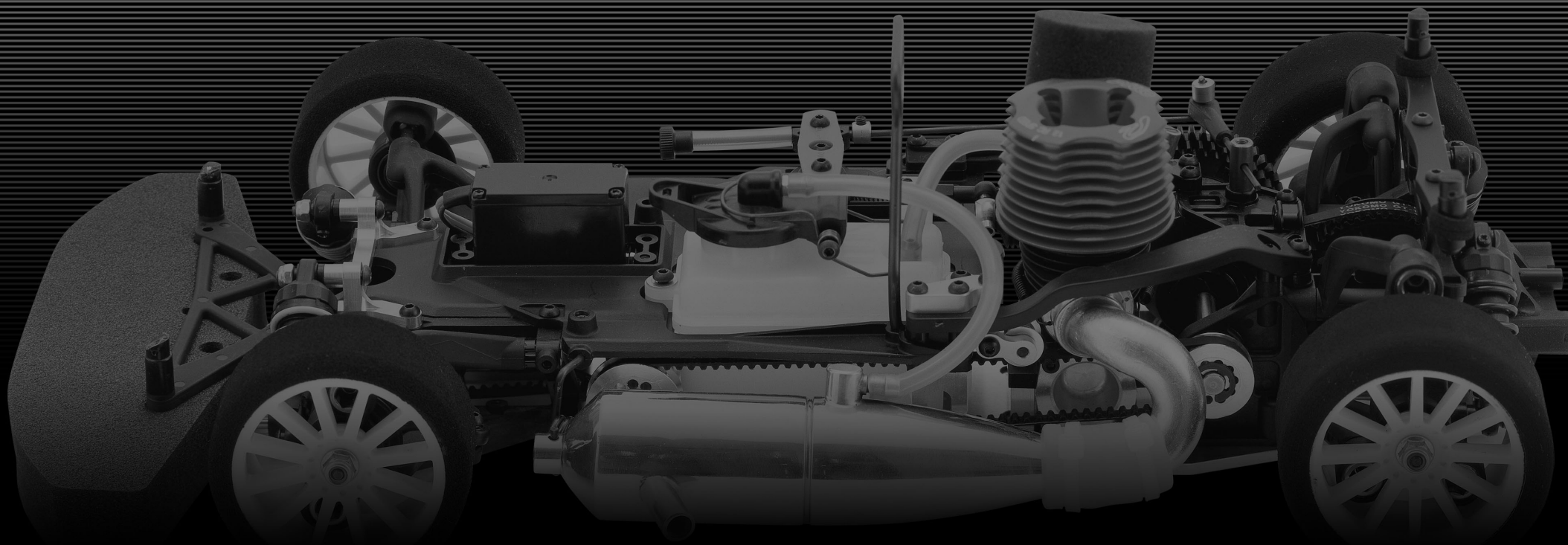
ボディカット②

- ・ ボディをシャシーに搭載して、タイヤに合わせてホイールアーチをカットします。フロントスポイラー、サイドは路面に干渉しない様にカットしてください。
- ・ ボディ側面にマフラーの排気口に合わせて10mm程度の穴を開けてください。

As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.

Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.



World Champions

YOKOMO

世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そしてR/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.yokomo.co.jp>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）

**YOKOMO
USA**

YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA. 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657